

令和5年度

事業結果報告書

社会福祉法人松江市社会福祉協議会

I	はじめに	1
II	実施事業	
1.	社協運営及び機能強化	3
1-(1)	法人運営管理	3
	① 理事会	
	② 評議員会	
	③ 監査会	
	④ 正副会長会	
	⑤ 経営戦略会議	
	⑥ 事業推進会議	
	⑦ 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会	
	⑧ 八市社協会	
1-(2)	広報	8
	① 社協だより・刊行物等の発行	
	② ホームページ	
	③ 「しまねの社協がそこにある！～あなたに身近な島根の社協活動情報 発信サイト～」を通じた広報活動	
	④ 「メールニュース まつえ社協」の配信	
	⑤ Instagram（インスタグラム）公式アカウントの開設	
1-(3)	社協会費、募金等	10
	① 社協会費	
	② 日赤会費	
	③ 共同募金	
1-(4)	研修啓発、講座	12
	① 松江市社会福祉大会	
	② 健康福祉フェスティバル	
	③ 第75回松江市民余芸大会	
1-(5)	篤志寄付金配分事業の推進	13
1-(6)	こども応援プロジェクト助成事業の推進	14
1-(7)	共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）	15
2.	地域福祉及び連絡調整の強化	15
2-(1)	第6次地区地域福祉活動計画策定支援	15
2-(2)	地域福祉の推進	15
	① コミュニティソーシャルワークの展開	
	② 地域福祉推進会議の開催	
	③ 地区社協・各種団体との連携	
	④ 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）	
	⑤ 地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議	
	⑥ 福祉推進員代表者会	
	⑦ 福祉推進員研修会	
	⑧ あったかスクラム事業の支援	
	⑨ 生活再建うちクリーニング事業	

⑩ 新たなつながりプロジェクト		
2-(3) 広域福祉事業の推進	_____	29
① 福祉サービス利用援助事業の推進		
② 法人後見事業		

3. ボランティア活動及び福祉教育 31

3-(1) コーディネート機能強化	_____	31
3-(2) ボランティアの育成、養成	_____	32
① 育成研修		
② 養成研修		
3-(3) ボランティアの活動支援	_____	33
① ボランティアルームの開放、備品の貸し出し及び保険の加入促進		
② ボラカフェの開催		
③ おうち de ボランティアの実施		
④ 松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援		
⑤ 企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援		
⑥ 松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援		
⑦ 松江市建築組合青年部ボランティア活動の支援		
3-(4) ふくし教育の推進	_____	37
3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化	_____	37
3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施	_____	38

4. 在宅生活支援事業の推進 38

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み	_____	38
① 地域包括支援センター事業の推進		
② 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進		
③ 生活支援コーディネーター設置事業		
④ 認知症地域支援推進事業		
4-(2) 各種貸付相談	_____	49
① 生活福祉資金の貸付		
② 民生融金の貸付		
4-(3) 福祉サービス	_____	51
5 福祉サービスの実施		

5. 公的福祉サービス受託事業の推進 52

5-(1) なごやか寄り合い事業	_____	52
5-(2) 松江市くらし相談支援センターの運営	_____	54
① 複合的な課題を抱えたケースに対する関係機関との連携強化		
② 生活困窮者支援に対する理解促進		
③ 就労に向けた支援の実施		
④ フードバンク事業		
⑤ 助っ人弁護士制度		
5-(3) 高齢者あんしんサポート事業	_____	60
5-(4) 松江市権利擁護推進センターの運営	_____	60

- ① 相談受付業務
- ② 利用促進業務
- ③ 後見人等支援業務
- ④ 広報・啓発業務
- ⑤ 地域連携ネットワークの構築

6. 介護保険関係事業の推進 68

6-(1) 松江社協介護センターの経営	68
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び総合事業	
6-(2) 美保関介護センターの経営	70
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び総合事業	
③ 通所介護事業及び総合事業	
④ 美保関介護センター地域貢献事業なごやかで買い物ツアー	
6-(3) 松南介護センターの経営	72
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び総合事業	
6-(4) 宍道介護センターの経営	73
① 居宅介護支援事業	
③ 訪問介護事業及び総合事業	
6-(5) 介護センターの研修等の推進	74
① 介護支援専門員資質向上事業	
② 訪問介護員内部研修	
④ 居宅介護支援専門員内部研修	
6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託	75

7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進 76

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	76
① 松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
② 美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
③ 松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	
③ 宍道障がい者居宅介護事業	

8. 児童福祉サービスの推進 79

8-(1) 児童センター等の受託運営	79
① 八雲児童センター運営事業	
② 八雲児童・子育て事業	
8-(2) 子ども食堂の取り組み	80

9. 福祉施設等管理運営事業の受託 81

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業	81
9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業	81
9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター（香梅の里）管理運営事業	81

10. 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進 82

- 10-(1) 重層的支援体制整備事業 82
 - ① 多機関協働事業
 - ② アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
 - ③ 参加支援事業
 - ④ 地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）

11. 災害支援 86

- 11-(1) 災害ボランティアセンター立上げ訓練 86
- 11-(2) 災害時における支援に関する協定先との情報交換会 86
- 11-(3) 災害ボランティアセンター運営に関わる研修 87
- 11-(4) 能登半島地震災害ボランティアセンター支援派遣 87

組織・機構

- ※職員数一覧表 88

I はじめに

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」に移行されました。さまざまなイベントや行事が再開され、コロナ禍によって停滞していた地域活動も少しずつ以前の姿を取り戻しつつあります。しかしながら、令和6年1月に発生した能登半島地震によって、いまだ多くの被災者の皆さんが避難所に身を寄せ、厳しい生活状況を強いられています。あらためて地域生活の中で、「つながり」ということの必要性が再認識された1年でした。

こうした中、本会では「地域のつながりづくり」を基本とした地域福祉活動に取り組んできました。特に、令和5年度は29地区の第6次地区地域福祉活動計画（実施期間：令和6年～10年）の策定について、地域住民の方々とともに協働しながら、地域の課題整理や具体的な実施計画づくりの支援を行いました。

また、「ふくしなんでも相談」「重層的支援体制整備事業」「権利擁護事業」「生活困窮者自立支援事業」等に取り組み、複合化・複雑化した地域生活ニーズへの支援に努めるとともに、それらの課題に対応すべく本会事業方針である〈あらゆる生活課題への対応〉〈地域のつながりの再構築〉を大切にしながら、事業を展開しました。

令和5年度は、以下の事業を重点的に取り組みました。

1. 地域包括支援体制実現に向けた事業の推進

本会が設置する市内14か所の「ふくしなんでも相談所」や社会福祉法人連絡会、連携薬局による「ふくしなんでも相談所」等、より住民に身近な拠点で相談を受け止め、課題解決に向けた支援を行いました。〈あらゆる生活課題に対応〉するため、6つの地域包括エリアのコミュニティソーシャルワーカーと地域包括支援センター相談員（保健師、社会福祉士、ケアマネジャー）がチームとなって、地域の困りごとを住民とともに考え、具体的な実践を展開しました。

2. 重層的支援体制整備事業の推進

困難・生きづらさはあるが既存の制度の対象となりにくいケースや、いわゆる「8050」やひきこもり等、個人・世帯が複数の生活上の課題を抱え、課題全体を捉えて支援していくことが必要なケースに対して、断らず、まずは受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援（ふくしなんでも相談所）」「アウトリーチ支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の4つの支援を一体的に実践しました。

3. 権利擁護のある地域づくりの実践

松江市権利擁護推進センターを中心に、地域包括支援センター、法テラス島根等の関係機関と連携を図りながら、成年後見制度等の権利擁護支援を必要とする人にしっかりつなげられるよう、権利擁護支援地域連携ネットワークの一層の充実を図りました。また、「まつえ権利擁護サポーター研修」等、成年後見に対する理解者を増やす取り組みを進めるとともに、地域の身近な場所で成年後見に関する相談を受ける出張相談会に取り組みました。

4. 地域福祉活動の推進

29地区の第6次地区地域福祉活動計画の策定支援、なごやか寄り合い事業の再開への支援や「子ども食堂」の立上げ支援等、〈地域のつながり再構築〉をソーシャルワークの手法に生かしながら実践しました。

5. 人生の最終段階での支援の充実

「高齢者安心サポート事業」の充実、「身寄りのない人への支援研修会」の開催等、これまで本会が実践してきた事業の推進と身寄りがない人のための「新たな支え合いの仕組みづくり」等を検証しました。また、松江市在宅医療介護連携支援センターを中心に「人生会議・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」の普及啓発や在宅の看取り代診医の仕組みづくり等、在宅医療と介護が一体的に提供できるよう取り組みました。

6. 生活困窮者等への継続的支援

一人親世帯等を対象に、ひとり一品運動でご寄付いただいた食料品等を提供するとともに、「松江市くらし相談支援センター公式LINE」を開設し、必要な人に適切な情報が提供できるよう仕組みづくりを行いました。貸付事業、松江市くらし相談支援センターを中心に、生きづらさを抱えた市民に対し、孤立することがないように関係機関と連携して「寄り添う」伴走型支援を実践しました。

7. 福祉教育の推進

「ふだんのくらしのしあわせ」を実践するため、誰もが社会参加できる地域づくりをめざして、福祉教育の推進・実践に取り組みました。島根県社協の「しまね流ふくし教育推進モデル事業」として、4年ぶりにサマーチャレンジボランティアを開催しました。

II 実施事業

1. 社協運営及び機能強化

1-(1) 法人運営管理

【総務課】

社会福祉法人制度改革に沿った役員、評議員体制を構築し、法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実、かつ効果的に行うために、理事会、評議員会を開催し、社協法人の意思決定を行いました。

①理事会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回	<p>●日 時 令和 5 年 5 月 31 日 (水) 10:00～</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</p> <p>出席者 総数 19 名中 16 名 監事 2 名</p> <p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度事業結果報告について ・令和 4 年度会計収支決算について ・評議員の推薦について ・役員の推薦について ・令和 5 年度第 1 回評議員会の開催について <p><u>以上原案どおり可決</u></p> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 5 次松江市社協発展強化計画について ・松江市社協リーフレットの発行について ・令和 6 年 4 月採用正規職員募集について 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人や薬局に設置している「ふくしなんでも相談所」窓口の状況及び今後の各地域での設置構想 ・4 年度末に作成した松江市社協リーフレットの活用方法等について ・民生児童委員の活動と「ふくしなんでも相談所」のつながり
第 2 回	<p>●日 時 令和 5 年 6 月 16 日 (金) 16:00～</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</p> <p>出席者 理事総数 18 名中 15 名 監事 1 名</p> <p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長の選任について ・専務理事及び常務理事の選任について ・松江市社会福祉協議会評議員・選任解任委員の選任について <u>以上原案どおり可決</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
第 3 回	<p>●日 時 令和 5 年 12 月 13 日 (水) 10:00～</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</p>	

事業名等	内 容	質疑・意見等
第3回（続き）	<p>出席者 理事総数 18 名中 15 名 監事 2 名</p> <p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の給与に関する規程の一部改正について ・ 報酬費用弁償支給規程の一部改正について ・ 令和 5 年度会計補正予算（第 1 号）について ・ 自動車保険フリート契約（任意保険）の締結について ・ 監事の推薦について ・ 評議員の推薦について ・ 令和 5 年度第 2 回評議員会の開催について <p><u>以上原案どおり可決</u></p> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度事業の実施状況について、「新型コロナウイルス特例貸付債権管理等業務」及び「身寄りのない人への支援」に絞って報告 ・ 令和 6 年 4 月正規職員採用試験結果報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問介護事業において受託することとなった「子育て世帯・ヤングケアラー等事業」の詳細について ・ 身寄りのない方の支援について、退職された従業員の支援など企業の役割や企業活用の提案 ・ 成年後見や権利擁護における地域とのつながり事例について
第4回	<p>●日 時 令和 6 年 3 月 21 日（木）10:00～</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室</p> <p>出席者 総数 18 名中 15 名 監事 2 名</p> <p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就業規程の一部改正について ・ 令和 5 年度会計補正予算（第 2 号）について ・ 令和 6 年度事業計画について ・ 令和 6 年度会計予算について ・ 総合福祉センター清掃業務契約の締結について ・ 総合福祉センターエレベーター保守点検業務契約の締結について ・ 美保関介護センター給食業務契約の締結について ・ 令和 5 年度第 3 回評議員会の開催について <p><u>以上原案どおり可決</u></p> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美保関通所介護事業の今後の検討について ・ 能登半島地震災害ボランティアセンター支援派遣報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身寄りのない人への支援の具体的な事業内容 ・ 以前提案した「社協だより」のカラー化について社協としての見解 ・ 災害ボランティアセンターについて社協設置は義務なのか、法律上の決まりがあるのか、松江市の実態について ・ 介護センター運営の検討における地域や利用者に与える影響や対応

②評議員会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第1回	<p>●日 時 令和5年6月16日(金) 10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数24名中18名 監事1名</p> <p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業結果報告について ・令和4年度会計収支決算について ・役員を選任について <p><u>以上原案どおり可決</u></p> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5次松江市社協発展強化計画について ・松江市社協リーフレットの発行について ・令和6年4月採用正規職員募集について 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護事業の利用減少や縮小している状況の中での、地域や利用者からの声や反応について ・ウェブニュースの発信件数等現状と今後の考え方について ・4年度末に作成した松江市社協リーフレットの設置、配布状況
第2回	<p>●日 時 令和5年12月21日(木) 10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数23名中19名 監事1名</p> <p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬費用弁償支給規程の一部改正について ・令和5年度会計補正予算(第1号)について ・監事を選任について <p><u>以上原案どおり可決</u></p> <p>【報告等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業の実施状況について、「新型コロナウイルス特例貸付債権管理等業務」及び「身寄りのない人への支援」に絞って報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・新町にあるシェルターと一時生活支援事業の利用状況及び退去後の利用者の生活状況 ・「子育て世帯・ヤングケアラ等事業」受託金の使途内容と事業効果 ・担い手不足や利用減少が深刻な介護事業の今後 ・監事の任期中途での辞任理由
第3回	<p>●日 時 令和6年3月28日(木) 10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数23名中17名 監事1名</p> <p>【議案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度会計補正予算(第2号)について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度会計予算について <p><u>以上原案どおり可決</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンターについて常設ボランティアセンターや出雲市のような他団体が入った組織体制による運営の考え方について ・社協の通所介護事業の事業所箇所

事業名等	内 容	質疑・意見等
第3回（続き）	【報告等】 ・美保関通所介護事業の今後の検討について ・能登半島地震災害ボランティアセンター支援派遣報告	・介護報酬改定の影響により民間の事業所も運営が苦しく住民福祉への行政支援が減ってきている感があり住民への不利益がある点への社協の見解 ・貧困対策への感想

③監査会

理事の業務執行の状況および法人の財産の状況について、監事による監査を実施しました。

事業名等	内 容	質疑・意見等
監査会	●日 時 令和5年5月25日（木）9:00～ 場 所 松江市総合福祉センター 会議室 内 容 令和4年度 事業報告、会計収支決算監査	・事業報告書、財務諸表正確であり不正の点なし ・担い手不足の状況の中サービス提供の継続が厳しい ・職員、利用者への配慮

④正副会長会

事業名等	内 容
第1回	●日 時 令和5年5月23日（火）11:00～ 会 場 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長1名、副会長2名 ・第1回理事会議案・第1回評議員会議案等について ・第5次松江市社協発展強化計画について ・松江市社協リーフレットの発行について ・令和6年4月採用正規職員募集について
第2回	●日 時 令和5年12月5日（火）11:00～ 会 場 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長1名、副会長2名 ・第3回理事会・第2回評議員会議案等について

事業名等	内 容
第 3 回	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 6 年 3 月 18 日 (月) 11 : 00～ 会 場 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長 1 名、副会長 2 名 ・第 4 回理事会・第 3 回評議員会議案等について

⑤経営戦略会議

管理職において、毎月第 1 水曜日に事業経営管理（マネジメント）及び各課事業の着実な執行、運営管理のための方針や事業展開について検討しました。

⑥事業推進会議

専務理事、事務局長、各課の課長、係長が参加し、毎月第 4 水曜日に各課が年度当初にあげた重点事業について、事務局長や他課からの意見を伺いながらその進捗管理を行い、社協全体で情報を共有しました。

事業名等	回数	内 容
本所事業推進会議	12 回	重点事業進捗管理と情報の共有

⑦中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

中国及び四国地域の都市社協で構成し、情報発信や提言・提案活動を展開することで、地域福祉の本格的な推進と社協組織の基盤強化を図ることを目的とし設置している「中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会」の事務局を今年度より本会から総社市社会福祉協議会が受け持つこととなり引継ぎを行った。また研修会が開催され参加をした。

事業名等	内 容
事務局引継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 5 年 6 月 1 日 (木) 会 場 総社市総合福祉センター内 総社市社会福祉協議会 出席者 総務課長、総務課長補佐 内 容 会計収支決算、事業報告等事務引継ぎ
総会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 5 年 10 月 13 日 (金) 付 書面による審議 内 容 ・第 60 期事業報告及び決算、第 61 期事業計画 (案) 及び予算 (案)、規約の一部改正について
研修会 情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 6 年 3 月 1 日 (金) 14 : 00～20 : 00 場 所 国民宿舎サンロード吉備路 (岡山県総社市) 参加者 本会より 4 名参加 (全体で 72 名の参加)

事業名等	内 容
研修会 情報交換会 (続き)	<p>内 容 【講演会】</p> <p>「地域共生社会実現に向けたむけた重層的支援体制整備事業」</p> <p>講師 同志社大学社会学部 教授 永田 祐 氏</p> <p>【トークセッション】</p> <p>○テーマ</p> <p>「社協における重層的支援体制整備事業準備と本実施の取り組み」</p> <p>○パネリスト</p> <p>大田市社会福祉協議会 地域福祉課長補佐 飯田 啓介 氏</p> <p>岡山市社会福祉協議会 生活支援課長補佐 酒井 和歌子 氏</p> <p>○コーディネーター</p> <p>同志社大学社会学部 教授 永田 祐 氏</p> <p>【情報交換会】</p> <p>・各社協の事業、活動等の情報交換</p>

⑧八市社協会

事業、研修会等は開催されませんでした。

1-(2) 広報

【総務課】

①社協だより・刊行物等の発行

「まつえ社協だより」を年6回公民館・自治会町内会を通じて各世帯に配布し、福祉情報の提供を行うとともに、社協活動への理解と協力を求めました。また視覚障がい者の方に向けても、よりわかりやすい情報提供ができるよう音訳及び点訳版を発行しました。

より多くの方に読んで頂ける広報誌を目指し、149号（令和6年1月号）から紙面をリニューアルしました。

年6回発行（5月・7月・9月・11月・1月・3月）A4版 白黒 6ページ

巻数	発行月	発行部数	表紙の内容
第145号	令和5年5月	1号につき	松江市社協のリーフレットを作成
第146号	令和5年7月	77,900部 (音訳)	子ども応援プロジェクト助成事業 協力のお祝い
第147号	令和5年9月		赤い羽根共同募金運動 10月1日スタート
第148号	令和5年11月	140部	くらし相談支援センター 事業紹介
第149号	令和6年1月	70部	松江市社協から新年のご挨拶
第150号	令和6年3月		赤い羽根共同募金協力に対するお礼、ご報告

②ホームページ

ホームページによって、社協の組織、事業、イベント、地区社協の活動など様々な情報をタイムリーに発信するように努めました。ユーザー数もここ数年と比較し増加しました。

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
ユーザー数	34,090件	30,069件	27,893件

③「しまねの社協がそこにある！～あなたに身近な島根の社協活動情報発信サイト～」を通じた広報活動

社会福祉協議会の役割や活動をPRするため、島根県内のすべての社協（県社協、19市町村社協）合同の情報発信サイト「しまねの社協がそこにある！」の運用が令和4年7月から始まりました。地域福祉の推進役を担う「社協」の存在を多くの方々に知っていただくため、本会でも下記のとおり記事を掲載しました。

掲載提供月	記事内容
令和5年4月	スムーズな救急搬送を目指して～施設と医療機関の連携～
令和5年5月	新リーフレットで“チーム社協”を紹介！
令和5年6月	2023 サマチャレの参加者を募集しています！
令和5年7月	畑づくりで多世代交流 「しらかた子どもファーム」
令和5年9月	まつえ権利擁護サポーター制度のご紹介
令和5年12月	ふれあいレクリエーション大会
令和6年2月	「子どもレストラン」を開催（乃木子ども食堂）
令和6年3月	“ちくやごめた食堂”の取り組み
令和6年3月	「もしも…」に備えて訓練（災害VC立ち上げ訓練開催）

④「メールニュース まつえ社協」の配信

本会が行っている取り組みや情報などをタイムリーに周知するため、メール配信に取り組みました。配信先は各地区社会福祉協議会（公民館）、行政、関係機関、他市町村社協等です。

○配信回数：12回（毎月1回）（令和5年4月～令和6年3月）

⑤Instagram（インスタグラム）公式アカウントの開設

幅広い世代に向けて本会の存在と活動をPRするため、写真や動画をメインに投稿するSNSの一つInstagram（インスタグラム）にて、公式アカウントを令和6年3月に開設しました。

○投稿記事：3件（令和6年3月19日～26日）

1-(3) 社協会費、募金等

①社協会費

5月から市内町内会自治会等にご協力をいただきながら社協会員を募集し会費を納入していただきました。

◆令和5年度 社協会費 (単位：円)

区 分	件 数	金 額	R4 年度実績
一般会費	813 自治会	24,060,775	24,380,142
特別会費	23 件	57,000	61,800
団体会費	64 件	264,000	255,000
法人会費	105 件	585,000	638,000
計		24,966,775	25,334,942

※一般会費とは1世帯当たり800円 ※特別会費とは個人で一口2,000円以上

※団体会費とは福祉施設対象で一口3,000円以上 ※法人会費とは企業対象で一口5,000円以上

②日赤会費

5月の赤十字運動月間を中心に、市内町内会自治会の方々のご協力により、会員へのご加入と会費のお願いをしました。日本赤十字社島根県支部松江市地区長 上定昭仁(市長)

◆令和5年度 日赤会費 (単位：円)

区 分	件 数	金 額	R4 年度実績
普通会費	801 自治会	19,238,950	20,373,830
特別会費	23 件	74,000	79,000
法人会費	102 件	676,000	669,000
計		19,988,950	21,121,830

※普通会費とは1世帯当たり700円以上

※特別会費とは個人1回2,000円以上で積立20,000円以上 ※法人会費とは企業対象

③共同募金

今年度も多くの市民や関係団体の協力得て、10月1日から12月31日（テーマ募金は1月1日から3月31日）まで共同運動を展開しました。今年度は4年ぶりに街頭募金、市民余芸大会を開催しました。

そのため募金総額は昨年度総額より増額となりました。また、松江市社協と関係のある法人へ社協職員が訪問し募金依頼を行うなど、新規開拓を行いました。職域募金ではクオカード・図書カード等を通じた募金を依頼したところ、市役所、松江市企業局、民児協、学校教職員、福祉施設、企業等のご協力をいただき、昨年度の実績を上回ることができました。テーマ募金についても目標額を上回ることができました。

さらに、助成団体から寄付者へのメッセージを伝えることや共同募金の使途を周知するために助成団体からのメッセージ動画を作成し、ホームページで紹介しました。

なお令和 5 年度事業の助成については、今年度の募金額では賄うことができないため「新型コロナウイルス感染症拡大下における福祉活動支援特別助成プログラム」を各団体助成に活用しました。

◆令和 5 年度共同募金

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	R4 年度実績
戸別募金	759 自治会	19,658,676	20,454,979
街頭募金(主に募金箱)	72 カ所	402,550	189,120
法人募金	331 件	1,807,000	1,371,000
学校募金	36 校	581,053	695,787
職域募金	96 件	861,366	818,500
イベント募金	38 件	1,673,735	183,846.
物品募金	106 件	753,850	655,100
個人募金・その他募金	112 件	995,957	943,668
テーマ募金	63 件	902,000	572,800
計		27,636,187	25,884,800

◆募金活動

募金種別	内 容
戸別募金	①各地区自治会・町内会連合会長を通して、各地区世帯へ依頼。 ②随時、各公民館区で協力依頼を実施。
街頭募金等	①10月2日一斉街頭募金 参加者 134 名 ②スサノオマジックホームゲーム 共同募金ブース 4 試合出展 ③常設募金箱 ・由志園 ・カフェ太郎 ・島根県物産観光館 ・きまち湯治村内 3 カ所 ・カットサロンのま ・ストリーム ・(有)松江クロード ・From40・CafeBrownie ・カナツ技建工業 (株) ・社会保険労務士法人村松事務所 ④運動期間中設置場所 ・各公民館 ・松江商工会議所 ・宍道健康センター ・(有) 白銀屋 (アイパルテ) ・ヨリアイーナ東出雲
法人募金	①企業等へダイレクトメール ②本会役職員、事務局による訪問及び協力依頼 ③地区社協選出の募金ボランティアによる訪問及び協力依頼
学校募金	①市内小中学校にドラえもん募金箱等を配布し協力依頼 贈呈式の実施 8 校
職域募金	①図書カード・クオカード等を通じたの募金依頼 市関係機関、民児協、学校教職員、企業、福祉団体等訪問依頼

募金種別	内 容
イベント募金	①公民館文化祭等行事 ②各種団体開催イベント ③松江市民余芸大会
物品募金	①県共募製作のピン・缶バッジ、エコバッグ、園山俊二シリーズのグッズ (既存作成分)について公民館、事務局等を窓口とし募金を呼びかける 他、職域募金にあわせ市関係機関、学校教職員、企業、福祉団体等訪問 依頼 ②ガチャガチャ(ピン・缶バッジ)の常設設置 ・松江歴史館 ・玉造温泉ゆ〜ゆ ・堀川遊覧船事務所 ・松江フォーゲルパーク ・松江クロード (フォーゲルパーク、クロードについては今年度オリジナルバッジを作成)
個人募金・ その他募金	①募金百貨店プロジェクト 7企業 ②赤い羽根自動販売機 17カ所 ③個人等その他
テーマ募金	①団体名：フードバンクしまね あったか元気便 事業名：フードバンク宅配事業 (子育て支援及び児童健全育成に関する活動)

◆社協会費、日赤会費、共同募金の推移 (単位：円)

区 分	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
社協会費	24,966,775	25,334,942	26,572,634	27,003,035	27,655,929
日赤会費	19,988,950	21,121,830	21,362,220	21,927,636	22,503,496
共同募金	27,636,187	25,884,800	26,784,806	26,496,037	28,850,565
計	72,591,912	72,341,572	74,719,660	75,426,708	79,009,990

1-(4) 研修啓発・講座

【総務課】

①松江市社会福祉大会

事業名等	内 容
松江市社会福祉 大会	●日 時 令和5年11月22日(水) 13:30~15:30 会 場 くにびきメッセ 大展示場 内 容 【表彰式典】(会長表彰及び感謝状贈呈) ・福祉推進委員功労者表彰 56名 ・社会福祉施設及び団体役員功労者表彰 7名

事業名等	内 容
松江市社会福祉大会（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設及び団体職員功労者表彰 33名 ・松江市社会福祉協議会長感謝（個人） 7名 <p>【記念講演】</p> <p>「死者たちのゆくえ」</p> <p>講師 島根大学 人間科学部 教授 山崎 亮 氏</p> <p>参加者 280名</p>

②健康福祉フェスティバル

【地域福祉課】

開催時期調整のため、今年度は開催しませんでした。

③第75回松江市民余芸大会

【地域福祉課】

公募による出演者と多くの市民の皆様にご協力いただき、手作りの余芸大会として松江市・山陰中央新報社との3団体共催により4年ぶりに開催しました。

この事業の収益金は松江市共同募金委員会へ全額寄付しました。

事業名等	内 容
第75回松江市民余芸大会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年12月16日（土）13:00～17:00 会 場 島根県民会館 大ホール 出演団体 15団体 来場者数 約1,300人 チケット代1枚1,800円(当日券2,000円) 収益金 1,419,009円

1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進

【総務課】

篤志寄付金は、市民の皆様からの香典返しを中心とした寄付金をお預かりし、社会福祉事業を行う地区社協や福祉団体・ボランティア団体、松江市社会福祉協議会の事業に配分し、地域福祉の推進に役立てられました。

葬儀の規模・形態が変化していること等から香典返し寄付金が減少傾向にありますが、ホームページ、社協だよりへの記事の掲載、中央郵便局でのデジタルサイネージによる動画配信の他、市内葬儀社を訪問し、説明チラシの配布等の広報活動を継続的に行いました。

(収入)

単位：円

区 分	R5 年度		R4 年度	
寄付金収入	921 件	24,490,000 円	989 件	25,324,910 円

(支出)

区 分	R5 年度		R4 年度	
福祉団体助成金	34 件	3,117,898 円	37 件	3,176,146 円
地区配分金	29 件	12,225,000 円	29 件	12,607,456 円
地域援助費	47 件	3,665,864 円	52 件	3,660,662 円
助成金支出	6 件	170,000 円	12 件	220,000 円
社協事業費支出	1 件	1,000,000 円	1 件	1,000,000 円
事務費支出		1,019,220 円		203,550 円
計	117 件	21,197,982 円	131 件	20,867,814 円

(収支)

資金収支差額	3,292,018 円	4,457,096 円
次期繰越金	22,084,500 円	18,792,482 円

1-(6) こども応援プロジェクト助成事業の推進

【総務課】

近年こどもの居場所づくりに関心が高まり、個人や団体からの子供向け事業へ活用を希望する大口寄附が増加しました。寄付者の意向に沿った活用をするため、令和 5 年度に「こども応援プロジェクト」助成事業を立ち上げ松江市内のこども向け事業を営む団体へ助成し、地域のこどもの未来を応援する機運の高まりを推進しました。

(収入)

単位：円

区 分	H29 年度～R5 年度	
寄付金収入	29 件	3,933,152 円

(支出)

区 分	R5 年度	
助成金	6 件	273,282 円

(収支)

資金収支差額	3,659,870 円
次期繰越金	3,659,870 円

1-(7) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）

【総務課】

NPO 法人、ボランティア団体等の活動支援（地域福祉活動推進事業）を目的に配分金について公募し、審査を行いました。【令和 5 年度募金（令和 6 年度事業）】

◆地域福祉活動推進事業（公募配分） 決定総額 600,000 円

	申請団体名	事業名
1	舞の会 a O B a	舞の会 a O B a 健康・生きがいづくり事業
2	特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい	障がい児のための音楽ワークショップ 「たのしい楽団」の開催・運営
3	松江おもちゃの病院	おもちゃの修理講習会&電子回路勉強会

2. 地域福祉及び連絡調整の強化

2-(1) 第 6 次地区地域福祉活動計画策定支援

【地域福祉課】

第 6 次地区地域福祉活動計画（令和 6 年～10 年）を策定するため、第 5 次（令和元年～5 年）の評価、課題整理を行うとともに、令和 4 年度に作成・配布した「第 6 次地区地域福祉活動計画策定の手引き」に基づき、各地区社協の計画策定を支援しました。

2-(2) 地域福祉の推進

【地域福祉課】

①コミュニティソーシャルワークの展開

令和元年度からコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を各包括支援センターと同じ事務所に配置することで、より住民の身近な場所で相談を受ける体制をつくりました。特に専門窓口の制度やサービスにつながるまでの支援、地域の民生児童委員等との連携が必要なケースにおいては、実態把握のための訪問や連絡調整などの役割を果たしました。また、地域で必要な社会資源の開発（移送支援、買い物支援、居場所づくりなど）を行いました。

◆CSW における個別ケースへの支援状況（6 エリア合計）

支援内容	回数
個別支援ケース実数	142 人
個別支援ケース延べ対応数	419 回
関係機関や関係者に対して行った働きかけ	255 人

◆CSW における地域での新たな取り組み

○中央地域包括支援センターエリア

【キッズキッチンじょうほく（城北公民館こども食堂）】（城北地区）

令和 4 年度に第二湊北台で立ち上がったこども食堂である「キッチンかえで」を拡充する形

で、令和 5 年 4 月から城北公民館を拠点に「キッズキッチンじょうほく」を住民有志とともに新設しました。

毎回約 40 名の参加があり、近隣小学校に通う子どもたちの居場所となりつつあります。加えて独居高齢者も多く参加されており、多世代交流の場としても広がっております。

担い手である住民ボランティアの輪も広がっており、民生委員や福祉推進員だけでなく、高校生や企業の社員ボランティア等幅広い方が携わっています。

また、CSW が個別ケースとして対応しているひきこりがちな方の社会参加の場としてつなぎ、受付などをお手伝いいただきました。

【中央小ふくし教育の拡充】(朝日・白潟地区)

例年 4 年生を対象に行っていたふくし教育を拡充すべく、学校や近隣福祉施設と協働しました。1 学期は CSW が講師となり、身近にある福祉や地域共生社会について座学を行いました。2 学期は 1 学期の学習をもとに車いすユーザーや盲導犬ユーザーの講話を聴き、相手の立場になって考えることの重要性を考えるきっかけとなりました。

そして座学で学習したことを実践すべく、近隣の老人保健施設と学校を仲介し、施設入居中の高齢者と小学生との交流事業を行いました。

当日は小学生に高齢者が喜んでもらえるようなプログラムを考えてもらい、実践しました。手作りのすごろくや紙芝居などを準備した小学生が高齢者と一緒に時間を過ごしました。

小学生に主体性を持たせた結果、大人の想像を超えるプログラムを準備したことに驚くとともに、参加された高齢者が目に涙を浮かべて喜ばれている姿が印象的でした。

○松北地域包括支援センターエリア

【子ども食堂の立ち上げ支援】(大野地区、秋鹿地区、古江地区)

◦大野地区：みんなの食堂「彩」

令和 5 年 5 月より地元の教会を会場に子ども食堂がスタートしました。2 ヶ月に 1 回程度のペースで開催され、参加者は約 60 名程度と町内外から多くの方が参加されています。地域住民のボランティアも活動に参加され、だれでも集える大野地区の居場所として定着しています。

◦秋鹿地区：キッチン AIKA

子ども広場開催時に合わせて、令和 5 年 7 月より公民館を会場に活動が始まりました。小学校の長期休暇期間を中心に、令和 5 年度は計 5 回開催されました。中学生が調理ボランティアなど活動に参加しており、地縁のつながりの深さから、子ども同士の声掛けなど元気な声が響き渡っています。

◦古江地区：なごやか食堂「ふるえテラス」

古江地区民生児童委員女性部が中心となり、令和 5 年 5 月より公民館を会場に毎月第 3 土曜日に開催されています。大学生ボランティアの参加もあり、天気の良い時は公民館のテラスも開

放し、子どもの遊べる機会を提供しながら活動されています。

【智者ヶ池お茶の間カフェにて ACP を学ぶ会の開催】（法吉地区）

令和 5 年 7 月に毎月第 2・第 4 木曜日に開催している智者ヶ池お茶の間カフェ（社会福祉法人みずうみと共催）にて、泉胃腸科医院の泉先生をお招きし「ACP を学ぶ会」を開催し、20 名が参加しました。法吉地区では研修などを通じて ACP についての関心が高まっており、お茶の間カフェでも開催することになりました。沢山の質問があり、参加者で学びを深めることができました。

【かしま♡みんなのカフェの開催】（鹿島地区）

鹿島地区社協を中心に新たな取り組みとして第 1 回目が令和 5 年 8 月 1 日に開催されました。鹿島地区では各地区でなごやか寄り合いや、なごやかカフェが開催されていますが、鹿島公民館を会場に多世代交流の場を作ろうとの想いで企画されました。当日は全体で約 60 名が参加され、多くの方で賑わいました。鹿島中学校の生徒もスタッフとして参加され、参加者と交流を深めることができました。今後もぜひ開催してほしいとの声があり、第 6 次鹿島地区地域福祉活動計画にも反映し、今後は年 2 回の開催予定としています。

○松東地域包括支援センターエリア

【松江養護学校中等部との連携～地域とのつながりづくり～】（川津地区）

松江養護学校中学部 1 年生の担任教諭から「生徒と地域のつながりをつくりたい」「地域のニーズに応えたい」という相談をきっかけに、公民館（地区社協）とともに「地域を知ろう一緒に〇〇しましょう！大作戦」と題し生徒が先生となって地域住民に教えるものづくり教室を公民館にて実施しました。一緒につくるものは公民館に展示してある松江養護学校の生徒の作品の中から、地域住民の方々より「作り方を教えてほしい」という声があったアイロンビーズ・お掃除棒・プレゼント用の折り紙の 3 点です。10 月～2 月の間にクリスマスのイルミネーションづくりも含め計 7 回のものづくり教室を実施し多くの地域住民の方々にご参加いただきました。

また、1 月にはこの活動の一環として島根大学の学生と一緒に交流しながら島根大学総合博物館への見学と構内散策も行いました。生徒のみなさんがこれらの体験や交流を通して、地域を知り、自分たちのことを伝えながら地域の方々とのつながりづくりができました。

【出張ふくしなんでも相談の実施】（持田）

身近な相談窓口としてのふくしなんでも相談を周知するとともに情報発信を行うこと、支援が必要な人の早期発見につなげることを目的に福原会館「ふれあい広場」と持田公民館やすらぎ会館「やすらぎ喫茶」にて毎月 1 回出張ふくしなんでも相談を行いました。保健師による血圧測定・健康相談とともにふくしなんでも相談を実施しています。何気ない会話から健康・介護・動物に

関する相談などさまざまな相談につながっています。

○湖南地域包括支援センターエリア

【出張ふくしなんでも相談所の開設】(宍道地区・玉湯地区・忌部地区・乃木地区)

住民の身近な場所で相談を受ける体制を強化するため、令和 3 年度から宍道、玉湯、忌部の各々の公民館で開催されている「公民館喫茶」で出張ふくしなんでも相談所を開設しました。令和 4 年度からは乃木公民館「喫茶さんあいサロン」、宍道町では宍道ショッピングスクエアベルのご協力を頂き、出張ふくしなんでも相談所を開設し、20 件の相談を受けました。相談内容は住民や民生児童委員、福祉推進員からの新規相談、支援経過報告、なごやか寄り合い運営についてなどの話を受けております。

【学校との連携】(乃木地区、忌部地区)

乃木地区において松江農林高校の生徒と地域で出かける機会がなくお困りの方とで学校の農場を活用した交流事業として『農林高校ふれあい広場』を実施しています。毎月 1 回の活動で花や野菜の種植えからスタートし、収穫した野菜を使って調理などを通して交流を図りました。また、忌部地区において昨年度から忌部小学校 5 年生を中心に、地域・住民との交流事業として『小さな輪の会』実施しており、地域から約 30 名の方にご参加いただき、今年度は小学校の児童からの提案で懐かしい遊びを一緒に行うことで交流を図りました。

【玉湯地区内福祉施設連携事業～ざっくばらん会議～】(玉湯地区)

玉湯地区内の福祉施設で働く職員同士の顔がわかる関係づくりを図るために「ざっくばらん会議」を開催し情報交換や研修会の企画などざっくばらんに話し合いました。新型コロナウイルス感染症により対面での研修ができていませんでしたが、感染症規制緩和と能登半島震災発生したことから『防災ミーティング』として災害について対面での研修会を開催し、町内高齢者事業所約 30 名に参加いただき、災害派遣に赴かれた方の話や各施設での災害対策や災害時の動きについてグループワークで意見交換をしました。

○松南第 1 地域包括支援センターエリア

【市営古志原買い物ツアー(移送支援)】(古志原地区)

古志原地区にある社会福祉法人上口福祉ケアハウス古志原ヒルズ協力のもと令和 3 年度からスタートしていた事業になります。社会福祉法人の「地域の為に何かできることはないか」という想いと、地域の「買い物に困っている」というニーズがマッチし、月に 1 回古志原ヒルズの送迎車を用い、無料で買い物送迎を実施していましたが感染症の影響で 1 年以上活動がストップしていました。

令和 5 年 5 月より感染症の類型が 5 類になった事もあり、活動再開に向け働きかけを行まし

た。5月から活動再開となり、毎月1回第4木曜日に実施し、昨年度は延べ50名の参加がありました。

出発前には参加者でコーヒーを飲みながら交流の場ともなっています。

CSWとしてはふくしなんでも相談の位置づけとして参加しており、昨年度は4件の相談がありました。

【学校と地域のつながりづくり】(大庭地区)

小学校と地域住民のつながりづくりを目的に令和5年11月に地域交流×ポッチャ体験を大庭小学校で実施しました。大庭小学校5年生と地域の高齢者24名が参加し交流を深めることができました。

この活動を皮切りに令和6年度からも地域との交流を行い、地域に開かれた学校を目指すと共に地域での見守り活動にもつながると思います。

○松南第2地域包括支援センターエリア

【こども食堂 ちくやごめた食堂立ち上げ支援】(竹矢地区)

地域のなかの子どもから高齢者まで誰もが集って、一緒にご飯を食べて楽しむことのできる居場所をつくりたいとの思いをもった主任児童委員を中心に公民館、地区社協と連携し立ち上げ支援を行いました。

令和5年5月18日 関係者打合せ

令和5年5月20日 乃木こども食堂へ視察見学

令和5年6月8日 ボランティアスタッフ打合せ

令和5年6月17日 プレオープンを実施した上で開催を決定しました。

毎月第3土曜日を開催とし、令和5年7月15日に第1回目を開催しました。初回は参加者19名、ボランティア15名でスタート。年間8回実施し延べ219名の参加がありました。ボランティアスタッフも10名以上の参加がありました。その中には、2023 島根みらい共創チャレンジで「子ども食堂を通して地域の輪を広げよう」をテーマに取り組んだ松江南高生徒2人も参加し、各世代が尊重し合いながらより良い地域を目指して活動ができました。

【認知症への理解を拡げるための講座開催】(竹矢地区)

「認知症の方への対応がわからない」と地域の方から相談が入り、公民館、地区社協、地区内グループホームと協働で「認知症サポーター養成講座」を令和5年11月27日に開催しました。

参加者11名全員から、講座の感想や介護体験などの話を伺いました。

【公民館ボランティア喫茶での出張福祉なんでも相談所開設】(八雲地区)

毎月第2火曜日に開催されている公民館ボランティア喫茶において、出張福祉なんでも相談

所を開設しました。より身近に相談できる場所としてPRしました。

【東出雲中学校との協働 美人塚清掃活動事業】（東出雲地区）

従来から東出雲中学校ボランティア部への支援を行っており、令和 5 年度は公民館と協働して美人塚ふれあい広場の整備作業を実施し、地域の方々と一緒に行い世代間交流ができました。

②地域福祉推進会議の開催

グループリーダー・コミュニティソーシャルワーカー(CSW)より奇数月の第 2 水曜日に地区での実践(地域づくり・まちづくり)の進捗状況の報告を受け、地域課題や進め方について社協内で課を越えて横断的に協議・情報交換等を行うことで、各地区でのコミュニティソーシャルワーカーの推進を図りました。

③地区社協・各種団体との連携

福祉推進員や民生児童委員との連携を図り研修会や勉強会を開催しました。

ア) 地区研修会（地区社協と協力して実施）

「見守りについて」「なごやか寄り合い事業立ち上げについて」等、各地区で研修会を開催しました。

イ) 地区活動の支援

各地区で地区地域福祉活動計画に基づき実施された事業について振り返りなどを行いながら実践につなげました。

ウ) 民生児童委員協議会への参加

毎月開催された民生児童委員協議会常務会、地区民生児童委員協議会定例会に職員が出席し、情報交換や連携の促進に取り組みました。

④地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）

住み慣れた地域において住民が主体となって、乳幼児から高齢者、障がい者など日常的に援助を必要とする人々への保健・福祉活動を推進するとともに福祉コミュニティの形成を図ることを目的として、各地区社協が実施する地域福祉事業の経費を一部助成することで、地区社協活動を支援し地域福祉の推進に寄与しました。

ア) 必須事業

地域における要援護者に対する見守りネットワークを形成するとともに、必要な支援活動を行う地区に対し助成を行い、活動の助言・協力を行いました。

イ) 重点・選択事業

地域住民の保健、福祉を増進するための活動として、さまざまなメニューの中から地域の実情にあわせ選択された活動に対し助成を行い活動の助言や支援を行いました。

事業名等	内 容	地区数	金 額
必須事業	1 地区社協 100,000 円	29 地区	2,900,000 円
重点・選択事業	1 地区社協 300,000 円	29 地区	8,518,000 円
合計			11,418,000 円

◆重点・選択事業の内容一覧

地区名	重点事業	選択事業
松東エリア	川津 ①健康づくり活動の推進 (健康まつえ 21 川津地区推進隊) ②社会的孤立の予防・居場所づくりの推進	①福祉の集い&チャリティー古本市 ②広報活動
	朝酌 ①健康まつえ 21 推進隊活動 ②介護予防の健康づくり活動	①子育て支援事業 ②地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	本庄 ①健康づくり (健康まつえ 21 推進隊事業) ②民生児童委員・福祉推進員合同研修 ③子ども居場所づくり事業	①なごやか寄り合い事業
	持田 ①健康づくり事業 ②なごやか寄り合い支援事業	①配食サービス ②やすらぎ喫茶事業
	島根 ①健康まつえ 21 推進事業	①地域ボランティア活動
	美保関 ①健康づくり活動の推進 (健康まつえ 21 計画の推進) ②社会的孤立の予防・居場所づくりの推進	①子育て支援活動 ②障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	八束 ①健康まつえ 21 推進事業 ②高齢者ふれあい事業「まめだ会」	①ふれあい訪問 ②子育て支援事業 ③地域交流サロン
中央エリア	城北 ①健康づくり活動の推進	①障がい児(者)の社会参加をすすめる運動 ②ミニデイサービス<お楽しみサロン>の開催 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動

地区名	重点事業	選択事業	
	城西	①健康づくり活動の推進 ②社会的孤立の予防・居場所づくり推進事業	①ふれあい会食サービス・ミニデイの開催 (なごやか寄り合い) ②子育て支援活動
	城東	①健康づくり事業 ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①防災に関する事業 ②子育て支援事業 ③地域福祉計画推進事業
	白潟	①健康づくりの推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進事業	①友愛訪問事業 ②障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ③なごやか寄り合い事業 ④福祉だよりによる広報啓発活動事業
	朝日	①健康づくり活動の推進(健康まつえ21計画の推進) ②地域で支え合い閉じこもり予防・介護予防の推進を図る ③社会的孤立の予防事業	①地域ふれあい活動 ②地区関係者合同研修 ③情報誌の発行
	雑賀	①健康づくり事業 ②地域の支え合いづくり事業 ③ほっとさいか(雑賀認知症見守りの会)	①公民館喫茶憩い館 おでかけミニデイサービスときわ
松北エリア	古江	①健康づくり事業 ②なごやか寄り合い支援事業	①古江給食サービス
	秋鹿	①なごやか寄り合い	①高齢者すこやかふれあい大会 ②そよかせ交流会・弁当配食 ③買い物支援 ④あいか☆お助け隊
	大野	①健康づくり活動の推進(健康講座) ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①ミニデイサービス(なごやか寄り合い事業) ②配食サービス ③お年寄りとの交流事業(愛のプレゼント交流) ④きらきら学級(乳幼児学級) ⑤社協だよりの発行

地区名		重点事業	選択事業
	法吉	①健康づくり事業 ・ほつき健康福祉まつり開催 ・健康ウォーキング開催 ・室内ニュースポーツ体験 ・検診受診の推進 ・健康講座の開催 ②認知症対策事業 ・認知症理解講座の開催	①各自治会に福祉対策支援事業 ・世代間交流事業 ・外出行事（美術館、花回廊など） ・敬老感謝（小学生から手紙、記念品配布） ・講演会開催 ・年末ふれあいそばお届け事業 ・ビデオ鑑賞会
	生馬	①元気で長生き道場 ②子育て支援（社会的孤立の予防） ③高齢者いきいき事業 （社会的孤立の予防）	①高齢者世帯及び身障者の福祉調査 ②配食サービス ③町内ミニデイサービス ④年末見舞い（友愛訪問） ⑤情報誌の発行
	鹿島	①鹿島地区健康づくり事業 ②かしまほっとクラブ～鹿島地区男性 介護者交流会～ ③なごやか世話人活動支援事業	①鹿島地区子育て支援事業 ②広報誌の発行
松南1エリア	津田	①こころとからだの健康づくりの推進	①ボランティア喫茶 ②友愛訪問 ③つだ社協だより
	大庭	①ふれあいレクリエーション大会 ②高齢者福祉講座・研修会・健康講座 ③閉じこもり予防活動・友愛訪問	①巡回相談室（巡回お悩み相談室） ②あそび広場 ②ふれあい会 ④「おおば福祉だより」の発行
	古志原	①安全安心見守り事業 ②介護予防・健康推進事業	①福祉ネットワーク事業 ②広報事業
松南2エリア	竹矢	①健康づくり ②介護・生活習慣病予防講座	①子育て支援事業 ②ボランティア養成事業
	八雲	①健康づくり活動の推進 （八雲地区健康まつえ 21 推進隊事業）	①給食サービス

地区名		重点事業	選択事業
	東出雲	①子育て支援事業（乳幼児期） ①健康まつえ 21 推進事業 ②なごやか寄り合い推進事業	①高齢者安否確認事業 ②広報事業
湖南エリア	乃木	①男の料理教室 ②乃木さんあい健康教室	①地域福祉事業 ②ふれあい弁当サービス
	忌部	①社会的孤立の予防・居場所づくり ②人材育成の推進	①配食・会食サービスの実施 ②ふれあい会食サービス・ミニデイサービスの開催
	玉湯	①健康づくり活動の推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①配食・会食サービスの実施 ②子育て支援事業
	宍道	①「ちょっこし動いて楽しま会」事業	①いきいき元気クラブ (転倒予防・認知症予防・介護教室)

⑤地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

ア) 地区社会福祉協議会相互の連絡・調整を図り、地区社協活動の発展と地域福祉の推進に努めることを目的として地区社協会長会（4回開催）・幹事会（2回）・正副会長会（3回）の開催に協力しました。

◆研修事業

事業名等	内容
新任会長学習会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年6月21日（水） 13:00～16:30 会 場 松江市総合福祉センター 4階 教養室 参加者 17名 内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会について ・松江市社会福祉協議会について ・第6次地域福祉計画・地域福祉活動計画について ・地区社協の財源について ・健康まつえ 21 推進事業について (講師：松江市健康推進課 高田保健師) ・すこやかライフ推進事業について ・福祉推進員について ・なごやか寄り合い事業について ・地区社協活動事例報告（川津地区、白湯地区）

事業名等	内容
第2回会長会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年7月10日(月) 10:30~12:00 場 所 松江市総合福祉センター 4階 教養室 参加者 28名 内 容 松江气象台出前講座「防災気象情報について」 講師 松江地方气象台 大城 宜文 氏
第4回会長会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和6年1月16日(火) 10:00~11:30 会 場 松江市総合福祉センター4階 教養室 参加者 29名 内 容 松江赤十字病院 地域向け医療講演会のご紹介 講師 松江赤十字病院 院長 大居 慎治 氏
第15回 松江市 社・公・自三団体 合同研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和6年3月7日(木) 16:00~ 場 所 ホテル白鳥 3階 鳳凰の間 参加者 29名 内 容 講演「ヤングケアラーの課題と地域に期待すること」 講師 島根大学法文学部 教授 宮本 恭子 氏
先進地視察研修 ①高知県高知市	<ul style="list-style-type: none"> ●期 日 令和5年11月7日(火)~11月8日(水) 視察先 NPO法人アテラーノ旭 一般社団法人地域学校協働・家庭教育支援・世代間交流センター 「もうひとつの大きな家族」 協 力 高知市社会福祉協議会 参加者 23名 内 容 住民主体の福祉活動について取り組み内容を視察
②広島県庄原市	<ul style="list-style-type: none"> ●期 日 令和5年12月5日(火) 視察先 庄原市、庄原市社会福祉協議会 参加者 22名 内 容 第2層協議体における活動実践報告について

イ) 事務局連絡会義

令和5年度は第6次地区地域福祉活動計画の策定年でもあり、地区社会福祉協議会から第5次地域福祉活動計画策定について事例を紹介するとともに地域福祉活動に必要な情報の提供を行いました。

○日 時 令和5年6月8日(木) 10:30~12:00

- 会 場 島根県立美術館ホール
- 参加者 62名
- 内 容 ・松江市、松江市社会福祉協議会からのお知らせ
 - ・第5次地区地域福祉活動計画策定時の取り組みについて報告
(美保関地区、白潟地区)

⑥福祉推進員代表者会

福祉推進員が行う地域福祉活動を円滑に行うため、また福祉推進員の活動に必要な研修会の開催を検討するために幹事会並びに代表者会を開催しました。

◆代表者会・幹事会

事業名等	内容
第1回 代表者会・幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年6月15日(木) 幹事会 14:00～15:00 代表者会 15:00～16:00 会 場 松江市市民活動センター201・202 研修室 出席者 幹事会 8名 代表者会 26名 内 容 ・令和5年度福祉推進員代表者会役員体制【案】について ・令和4年度事業報告について ・令和5年度事業計画【案】について
第2回 代表者会・幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年11月9日(木) 幹事会 9:15～10:30 代表者会 場 所 松江市総合福祉センター 4階 教養室 出席者 幹事会 4名 代表者会 20名 内 容 ・令和5年度福祉推進員全体(初任者)研修会の振り返り ・令和5年度福祉推進員ブロック研修会について

⑦福祉推進員研修会

ア) 福祉推進員(初任者)全体研修会の開催

新任の福祉推進員及び再任の福祉推進員を対象に、活動事例発表や講演会を通して実際の福祉推進員の役割や人と人とのつながりづくりの重要性について学び、今後の実践活動に活かしていただくことを目的に開催しています。今年度は、地域包括支援センターの役割について、朝酌地区・乃木地区における福祉推進員活動の実践報告を実施しました。

◆福祉推進員福祉推進員全体(初任者)研修会

- 日 時 令和5年7月22日(土) 10:30～12:00
- 場 所 島根県立美術館ホール
- 参加者 121名

- ・内 容 ・講演：地域における見守り活動について（松江市社協地域包括ケア推進課）
- ・福祉推進員活動事例発表

朝酌地区福祉推進員会 代表 福良 智洋 氏

乃木地区福祉推進員会 会長 松尾 康弘氏、副会長 門脇 和子氏

イ) 福祉推進員ブロック研修会の開催

令和 5 年度のブロック研修会では社会的な課題であるヤングケアラーの実態について正しく理解するとともに事例検討を通じて福祉推進員一人ひとりができることを考え、地域における包括的な支援につなげていくことを目的に開催しました。包括エリアごとに開催し、ロールプレイによる事例検討を行い、当事者それぞれの視点に立って意見交換を行いました。

事業名等	内容
中央ブロック 城西・城東・城北・ 白潟・朝日・雑賀	●日 時 令和 6 年 1 月 31 日（水）10:00～11:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 参加者 福祉推進員 37 名
松東ブロック① 川津・朝酌・本庄・ 持田	●日 時 令和 6 年 2 月 16 日（金）10:00～11:30 会 場 川津公民館 イベントホール 参加者 福祉推進員 23 名
松東ブロック② 島根・美保関・八束	●日 時 令和 6 年 2 月 15 日（木）13:30～15:00 会 場 美保関公民館 研修室 参加者 福祉推進員 14 名
松北ブロック① 古江・秋鹿・大野	●日 時 令和 6 年 1 月 19 日（金）10:00～11:30 会 場 古江公民館 講堂 参加者 福祉推進員 19 名
松北ブロック② 法吉・生馬・鹿島	●日 時 令和 6 年 2 月 8 日（木）13:30～15:00 会 場 鹿島公民館 2 階 正庁（大会議室） 参加者 福祉推進員 8 名
松南ブロック 津田・古志原・大庭 竹矢・八雲・東出雲	●日 時 令和 6 年 2 月 17 日（土）10:00～11:30 会 場 ヨリアーナ東出雲 会議室 1・2・3 参加者 福祉推進員 40 名

事業名等	内容
湖南ブロック 乃木・忌部・玉湯・ 宍道	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 6 年 2 月 14 日 (水) 10:00～11:30 会 場 玉湯公民館 大ホール 参加者 福祉推進員 12 名
研修会共通	<p>内 容 (共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義「ヤングケアラーの実態とその支援について」 講師 松江市子ども家庭支援課 ヤングケアラーコーディネーター 齋藤 文章 氏 ・ グループワーク <p>事例をもとに参加者でロールプレイを実施。当事者の視点に立って感じたことや福祉推進としてできることなど、グループで意見交換を行った。</p>

⑧あったかスクラム事業の支援

松江市内 11 会場で実施されている「あったかスクラム事業」(障がいのある子どもの地域活動、その親の会活動支援)関係者の情報交換を目的に「あったかスクラム代表者会」を開催しました。

事業名等	内容
第 1 回代表者会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 5 年 9 月 27 日 (水) 10:00～11:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 出席者 あったかスクラム代表者 (10 名) 内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・ あったかスクラム事業事務局体制について ・ 各地区の取り組み状況と課題について ・ 情報交換
第 2 回代表者会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 6 年 2 月 22 日 (木) 10:00～11:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 出席者 あったかスクラム代表者 (6 名) 内 容 <ul style="list-style-type: none"> ・ R6 健康福祉フェスティバルブース出展について ・ 事業の周知・広報について

⑨生活再建おうちクリーニング事業

市民が安心・安全に住みなれた地域で暮らすため、高齢化や疾病、障がい等により身の整理整頓、衛生的な生活環境が保てないことによる健康被害や教育環境を整えることが難しい世帯に対し、市と市社協が協力し、ゴミの片付け、運搬を実施し、自立に向けた支援を行う事業です。令

和5年度の利用はありませんでしたが、個々の状況に応じた相談支援を行いました。

年度	利用者数
R5年度	0件
R4年度	0件
R3年度	1件

【プロジェクト】

⑩新たなつながりプロジェクト

近年、一人暮らしや身寄りのない人たちが増え、血縁や地縁による助け合い・支え合いでは解決できない問題が生じています。社協内にプロジェクトチームを組織し身寄りのないもの同志での互助組織の立ち上げを視野に、その必要性や展開方法を学びました。

◆松江市社協活動の振り返りと身寄りのない問題を考える研修会

- 日 時 令和5年11月14日（火）18時～19時30分
- 内 容 松江市社協の変遷と今日的問題意識の共有
講師 松江市社会福祉協議会 常務理事 諏訪 方宣
- 参加者 松江市社協職員

◆身寄りのない関係者から学ぶ研修会

- 日 時 令和6年1月19日（金）午前9時～10時30分
- 内 容 身寄りのない人の互助組織立ち上げ・運営の実際を当事者から実際に聞く
講師 「やどかりサポート鹿児島」「つながる鹿児島」 理事長 芝田 淳氏
当事者 深水 氏
- 参加者 松江市社協職員

2-(3) 広域福祉事業の推進

【生活支援課】

①福祉サービス利用援助事業の推進

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な方々に対して、できる限り地域で安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預りサービスを行いました。また、関係機関への周知及び連携など事業の円滑な推進に努めました。

◆相談・問合せ件数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R5年度	1,095件	5,493件	2,024件	429件	9,041件
R4年度	780件	3,022件	1,308件	292件	5,402件
R3年度	933件	2,862件	1,607件	303件	5,705件

◆契約締結人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R5年度	171人(2)	151人(0)	106人(2)	9人(0)	437人(4)
R4年度	169人(2)	151人(2)	104人(1)	9人(0)	433人(5)
R3年度	167人(1)	149人(1)	103人(2)	9人(0)	428人(4)

()内は年度内契約件数

◆現在の実利用人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R5年度	7人	67人	20人	4人	98人
R4年度	11人	74人	24人	4人	113人
R3年度	13人	78人	29人	4人	124人

「その他」は、高次機能障がいの方

◆生活支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R5年度	74人	30人
R4年度	64人	41人
R3年度	59人	36人

◆生活支援員研修会

内 容	期日	人数
権利擁護支援者交流会（市社協主催）	10月24日	8人
日常生活自立支援事業生活支援員研修会（県社協主催）	2月29日	17人

②法人後見事業

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神的疾病などにより判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、支援していく制度です。

法人後見事業は、松江市社会福祉協議会が法人として成年後見人等に就任し、後見事務を行っていく事業で、本人の財産管理や契約等の支援を行いました。

◆法人後見事業の推移 死亡ケース含まず

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	計
R5年度	15件 (後見12・保佐2・補助1)	14件 (後見9・保佐5)	3件 (後見2・補助1)	32件
R4年度	15件 (後見10・保佐3・補助2)	12件 (後見7・保佐5)	2件 (後見2)	29件

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	計
R3 年度	14 件 (後見 11・保佐 2・補助 1)	7 件 (後見 3・保佐 4)	3 件 (後見 3)	24 件

◆法人後見支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R5 年度	16 人	15 人
R4 年度	14 人	9 人
R3 年度	9 人	8 人

3. ボランティア活動及び福祉教育

3-(1) コーディネート機能強化

【地域福祉課ボランティアセンター】

ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐ機能を強化し、高齢者や障がい者など支援を必要とする人が地域の中で自立した生活ができるよう支援しました。

また、なごやか寄り合いなどの地域活動や、福祉施設のイベントに出演してくださるボランティアを紹介する「趣味・特技を活かしたボランティア」紹介冊子を作成し、ボランティアセンターで配布、市社協HPに掲載しました。

◆ボランティア登録人数及び団体数

登録ボランティア分類	R5 年度	R4 年度	R3 年度
個人ボランティア	140 名(14)	136 名(7)	122 名(7)
団体ボランティア	94 団体(7)	94 団体(5)	90 団体(5)

() は新規登録者 (団体) 数

◆ボランティアの斡旋実績

利用状況	R5 年度	R4 年度	R3 年度
派遣依頼数(Zoom 配信依頼数)	120 件(0)	48 件(0)	54 件(1)
派遣団体数	27 団体	18 団体	26 団体
個人ボランティア延派遣者数	26 人	23 人	23 人
コーディネート数(マッチング回数)	123 件	48 件	50 件
キャンセル・該当者なし	1 件	0 件	5 件

◆相談機関・団体等との連携推進

個別支援の対応として、個人登録者・ゆうあいヘルプ・松江市くらし相談支援センター・地域包括支援センター・各エリアの CSW や市等の関係機関と連携しボランティアのコーディネートを行いました。

また松江工業高等学校の「地域企業・地域住民と協働することにより、地域産業の発展に寄与できる心豊かな技術者育成を目標とした課題研究としての取り組み」の一環として実施された車

いすの点検・修理に協力しました。

○団体との協働

松江刑務所：社会貢献作業としてのシトラスリボンプロジェクトへの取り組み

松江赤十字病院：各種啓発リボン運動への取り組み

絵手紙サークルで作成された絵手紙を、ボランティアセンターを通じて病院へ寄付。入院中の方と家族や友人との交流の一助として、またリハビリ中の方の訓練の一環として活用。

3-(2) ボランティアの育成、養成

ボランティア活動の基本的知識、取り組む姿勢の育成・養成を行いました。

①育成研修

①-1 2023 サマーチャレンジボランティア

ボランティア活動に関心のある方が市内の社会福祉施設等での体験を通じて社会福祉についての理解を深めると同時に、さまざまな出会いのなかから、新しい発見やボランティア活動について考える機会を提供しました。

◦実施期間 令和5年7月23日（日）～8月27日（日）

◦内 容 ・事前研修 講話・説明、活動先職員との個別面談
・体験先 高齢者施設、障がい者施設、保育所
・事後研修 個人ワーク、活動発表・振り返り

◦参加者数 21名（高校生）

①-2 あいサポート研修

障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す「あいサポート運動」の推進に取り組みました。

ア) あいサポート運動の啓発

「ボランティアセンターだよりつなぐ22号」の紙面にて紹介しました。

イ) あいサポーター研修の受付・推進

企業、団体等に対してメッセージャーを派遣し、研修を実施しました。

実施団体数・・・30団体 38回 受講人数・・・1,662人

◆あいサポーター研修実施団体詳細

団体種別	団体数	団体種別	団体数
小学校	5	地域住民	1
中学校	1	行政関係	2
各種学校	9	その他	3
企 業	9	合計	30

ウ) あいサポートメッセンジャーの登録・活動継続の意思確認

◆メッセンジャー登録者数

R5年度	R4年度	R3年度
163名	171名	154名

②養成研修

②-1 ボランティア入門講座の開催（くらし安心サポートセミナーを兼ねて開催）

- 開催日 令和5年10月6日(金)
- 会場 松江市総合福祉センター4階 教養室
- 参加者 3名（修了者：3名）

②-2 介護の入門的研修

- 開催日 令和5年10月24日(火)～27日(金)
- 会場 松江市総合福祉センター4階 教養室
- 参加者 8名（修了者：7名）

3-(3) ボランティアの活動支援

①ボランティアルームの開放、備品の貸出し及び保険の加入促進

◆ボランティアルーム利用状況

利用状況	R5年度	R4年度	R3年度
実利用日数	170日	196日	151日
延べ利用団体数	95団体	226団体	177団体
延べ利用人数	411名	744名	973名

◆ボランティア活動に伴う機材等の貸出

貸出機材	R5年度	R4年度	R3年度
印刷機	25件	68件	71件
コピー機	76件	37件	50件
車椅子	89件	73件	73件
アイマスク	3件	1件	3件
その他(高齢者疑似体験セット・スクリーン等)	54件	39件	48件

◆ボランティア保険の加入促進

ボランティア保険種類	R5年度	R4年度	R3年度
ボランティア活動保険（基本）	6,273名	6,615名	6,450名
（天災・地震補償）	412名	342名	397名
（特定感染症重点）	90名	—	—

ボランティア保険種類	R5年度	R4年度	R3年度
ボランティア行事用保険	1,635件	1,461件	1,308件
福祉サービス総合補償	10件	9件	8件
送迎サービス補償	4件	3件	4件

※事故取扱件数7件

②ボラカフェの開催

ボランティアをしたいけど、何をしたいかわからない。一步を踏み出したいという人のきっかけづくりとして、古切手整理、啓発用リボンの作成、折り鶴昇華再生活動（折り鶴の解体、選別）などの軽作業を実施しました。

・開催日：毎月第4水曜日 14:00～15:30

・回数：12回

・参加実数：延べ186名

③おうち de ボランティアの実施

ア)古切手整理

コロナ禍において人との関りや外出を控えている方を対象に家庭でできる活動として始めました。令和5年度は参加がありませんでした。

・参加：古切手整理 0件

イ)趣味・特技編

活動の機会や出演の機会が少なくなっている個人・グループ・団体とそれらの受け入れが難しくなっている施設・なごやか会等をつなぐ試みとして、DVDの貸出しや、リモート配信について、ホームページへの掲載などによって案内、周知を行いました。

・参加呼びかけに対する登録：10グループ

④松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

ア)松江市ボランティア連絡協議会登録団体数

分類	R5年度	R4年度	R3年度
健康・福祉・まちづくり	29団体	29団体	29団体
子ども・青少年・人権	20団体	21団体	20団体
文化・芸術・スポーツ・レクリエーション・国際・情報	22団体	23団体	24団体
計	71団体	73団体	73団体

イ)主な活動

・機関紙の発行：第43号

・松江城・街美化ウォークの開催：令和5年6月10日(土)開催

・おもちゃの寄贈 玩具メーカーのハズプロ社が行っている玩具・ドネーション（おもちゃ

寄贈の社会貢献活動)に当連絡協議会が応募し受取った寄贈品を、松江市社会福祉協議会や、市内子ども関連施設、子ども食堂活動団体等へ寄贈しました。

- ・能登半島地震災害支援の募金活動：①令和6年2月25日(日)
会場 松江城 参加者 12団体18名
- ②令和6年2月26日(月)
会場 JR松江駅 参加者 12団体25名
- ・各種会議の開催：役員会3回、運営委員会・総会 書面審議
松江城・街美化ウォーク 企画会議1回実施

⑤企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援

ア) 加入者数：企業会員 62企業、個人会員 57名

イ) 総会・研修会の開催

事業名等	内容
総会・研修会	●日時 令和5年10月12日(木) 15:30～17:30 会場 サンラポーむらくも 瑞雲の間 講師 松江市長 上定 昭仁 氏 参加者 39名

ウ) 正副専門委員長会の開催

8月9日 第1回正副専門委員長会

8月31日 第2回正副専門委員長会

10月3日 第3回正副専門委員長会

エ) 美化活動、水燈路の行燈の審査・表彰授与、赤い羽根共同募金活動への協力、ひとり一品運動への協力

オ) 機関紙の発行 NO.40 R6.2月発行

⑥松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援

ア) 幹事会の開催

5月8日 第1回幹事会

6月23日 第2回幹事会

7月26日 第3回幹事会

8月30日 第4回幹事会

12月21日 第5回幹事会

イ) 総会・研修会の開催

事業名等	内 容
総会・研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年8月1日(火) 14:30~17:00 会 場 エクセルホテル東急 講 師 松江市長 上定 昭仁 氏 参加者 25 法人 41 名

ウ) 地域における権利擁護体制づくり推進モデル事業の検討、実施

島根県社会福祉協議会からの助成を受け、権利擁護や成年後見制度に関する理解を深めるための研修会を開催しました。

事業名等	内 容
市民公開講座	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和6年1月25日(木) 13:30~15:30 会 場 松江市総合福祉センター 4階大ホール 内 容 第1部 成年後見落語 落語家 桂 ひな太郎 氏 第2部 成年後見制度について(解説) 落語家 桂 ひな太郎 氏 弁護士 鳥居 竜一 氏 参加者 42 名

エ) 情報発信

- ・機関紙『ワンラブ通信』の発行(令和5年12月)
- ・市社協ホームページでの情報提供

オ) ふくしなんでも相談窓口の設置

- ・令和4年4月1日設置 9 法人 20 事業所
対応件数 9 件

カ) ひとり一品運動への協力

⑦松江市建築組合青年部ボランティア活動の支援

地域で生活する一人暮らし高齢者・障がい者世帯の在宅での生活を支援するとともに、活動を通じて地域の方々に大工仕事の重要さを知っていただき、様々な人との交流を深めることを目的として実施されました。

松江市社会福祉協議会内の相談機関を通して対象者の把握を行い、6件の申し込みを受け付け下見を行い、うち4件について活動が実施されました。

- ・下見 令和5年9月14日(木)
- ・活動日 令和5年10月15日(日) 組合より9名参加、2班に分かれて活動

3-(4) ふくし教育の推進

ふくし教育についての相談や情報提供し、講師派遣の調整を行いました。

ア) 福祉学習推進の支援（講師派遣数）

区 分	R5 年度	R4 年度	R3 年度
学校関係	28 回	24 回	14 回

イ) 介護の基礎的講座普及モデル事業の推進

中学校学習指導要領の改定において、高齢者など地域の人々と協働する必要性や介護など高齢者との関わりを実践的に学ぶことが規定されたことに伴い、中学校において「福祉の心」を育む教育を推進するとともに、高齢者や介護に関する興味・関心を醸成し、将来の進学または職業選択の一助とすることを目的として、講義や体験的な活動等を実施しました。

講師については、老施協の協力を得て、介護現場で高齢者を第一線で支える介護施設職員を「介護の仕事コンシェルジュ」として派遣しました。

◆介護の仕事コンシェルジュ登録者数

10 法人、15 施設、48 名

◆実施状況

区 分	R5 年度	R4 年度	R3 年度
実施校数	6 校	6 校	5 校
人数	643 名	597 名	554 名
実施回数	10 回	8 回	9 回

ウ) 「ふくしの学び合い」推進

市町村社協が学校・公民館・社会福祉施設・企業・団体などと連携して行う「福祉学習プログラム」を活用した研修事業等を目的とした島根県社会福祉協議会の補助事業を受け、地域の関係が希薄化するなか、生き生きと安心して地域で暮らすために「ふくし学習」を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりの好循環を目指した学習を実施しました。合わせて、地域におけるプラットホームづくりに対する助成を受け事業を実施しました。

◆もんじゅの知恵～「ふくし教育」実践プログラム集～の活用

「ふくし教育」を進めていくためのポイントやSDGsの視点を取り入れた実践プログラム集や申込書等を掲載したもんじゅの知恵～「ふくし教育」実践プログラム集～を活用し、学校等で実践を行いました。

3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化

ホームページの充実や情報誌の発行及びボランティアの相談受入の充実に努めました。

◆ボランティアセンター情報紙「つなぐ」を年4回(6月・9月・12月・3月)発行しました。

◆ホームページやフェイスブックを通じ情報提供に努めました。

◆収集ボランティア活動支援（古切手、プルタブ等受付）

区 分	R5 年度	R4 年度	R3 年度
受付件数	108 件	125 件	157 件

使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収を通じて、プラスチックごみの削減や環境問題を意識してもらうことを目的とした「アイシティ eco プロジェクト」に賛同し、回収 BOX を設置しました。

◆くにびき学園出合いの広場へ出展し活動のPRを行いました。

- 日 時 令和 5 年 5 月 30 日（火）
- 会 場 いきいきプラザ島根 1 階体育館
- 主 催 島根県社会福祉協議会（くにびき学園東部校）・島根県
- 参加者 約 50 名（くにびき学園生・OB、活動に関心のある人、地域団体）

3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施

市の委託事業として、65 歳以上の元気高齢者となごやか寄り合い事業を対象にして、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防の促進と活躍の場の進展、地域活動・ボランティア活動の推進に取り組みました。

区 分	R5 年度	R4 年度	R3 年度
個人登録者数	108 名(23)	96 名	97 名
団体(なごやか寄り合い)登録数	202 団体(7)	268 団体	208 団体
受入施設登録数	52 施設(9)	46 施設	46 施設

（ ）は新規登録数

4. 在宅生活支援事業の推進

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

①地域包括支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

地域包括支援センターに全世代を対象としたふくしなんでも相談窓口を設置し、障がいのある方や子ども、生活困窮者などの複雑・複合化した相談を受けとめるワンストップ窓口としての機能の充実をめざし取り組みました。

処遇困難なケースの中には身寄りがいない、親族の支援が受けられないために施設入所や入院手続きなどに担当のケアマネジャーや包括相談員が対応に苦慮しているケースがあり、「支援者のための松江市身寄りのない方への支援ガイドライン」の周知を図るため研修会の開催と病院、居宅介護支援事業所、福祉施設に身寄りのない方への支援についてのアンケートを実施し、身寄りのない方への支援について課題を把握しました。

また、近年各地で豪雨による水害や土砂災害が多発しており、災害に備えて民生児童委員、福祉推進員、ケアマネジャー等を対象に地域で合同研修会の開催や、ケースを通して事前に避難

場所や避難方法を地域の方やケアマネジャーとともに確認を行いました。

■重点事業

ア) 総合相談業務

- 福祉推進員委嘱状交付式や民協定例会、地域で開催される研修会など、福祉推進員、民生児童委員のほか、医療機関・金融機関・商店・コンビニ等に包括チラシやふくしなんでも相談のチラシを配布し周知しました。また、16会場で出張なんでも相談を行いました。
- 包括とCSWで合計120件のふくしなんでも相談を受け付けた。イオンなんでも相談から支援につながる相談もあり支援を行いました。
- 相談実利用者数3,133人、相談延べ件数18,572件とも年々増加しています。
- 支援や関わりを拒否されひきこもりの方に対してCSWやアウトリーチ専門職員とともに訪問を行いました。

イ) 権利擁護業務

- 虐待通報件数が84件(内新規ケースが67件)あり、のべ対応回数は376回でした。「松江市高齢者虐待対応マニュアル」に基づいて、すみやかに市と協議し、介護支援専門員・主治医・サービス事業所等の関係機関と連携して虐待対応を行いました。
- 虐待・困難事例で包括での対応が困難な4件のケースに対して、精神科医師や発達障がい者支援センター相談員から助言をいただき対応しました。
- 身寄りのない人への支援のガイドラインとACPの普及を図るため研修会を開催し、107名の参加がありました。また、身寄りがいない人への支援の実態を把握するためのアンケートを行い、267事業所へ送付、119件から回答がありました。今後さらに課題の分析し課題解決を検討する場の検討が必要です。
- ブロック連絡会で「高齢者施設虐待防止について」の研修会を開催し、虐待防止の周知を図りました。
- 各包括において成年後見制度のニーズの高いケースについて後見申立の類型や今後確認していく内容等検討するチームを立ち上げ、権利擁護推進センターと検討会を実施し20ケース協議しました
- 認知症などにより判断能力が低下した方の支援として市長申し立てを3件要請し、親族申し立て21件支援しました

ウ) 介護予防ケアマネジメント業務

- 松江市住民主体の通所サービス(通所B)について新規の2か所の立ち上げ支援を行いました。また社協ホームページの高齢者お役立ち情報へ総合事業の掲載を行い、地域の研修会で総合事業について周知しました。
- 地域で開催された健康教室やなごやか寄り合い(51会場)の参加者や、実態把握訪問をした方 合計1,026名に対して、通いの場への参加継続やフレイル予防、免許返納に関する注意等の啓発を行いました。総合相談も同様に、チラシを活用しながらフレイル予防

や通いの場を紹介しました。その結果、338名が公民館などで開催している「からだ元気塾」に新たにつながりました。

○松江市保健師が実施したフレイルチェックで8点以上の方 79名に対して個別訪問を行いました。地域の活動の場への参加や介護予防教室への参加の声掛けをしました。

エ) 包括的・継続的ケアマネジメント

○免許返納に関するパンフレットを作成し、個別の相談のほか、地域でのなごやか寄り合い、公民館カフェ、高齢者の集い、オレンジカフェ等で説明し配布しました。

○各包括支援センターにおいて自然災害、感染症に関するBCP(事業継続計画)を策定し、有事の際に事業を止めることなく利用者にサービスが提供できる体制整備を行いました。

○各包括の介護予防支援事業所として高齢者虐待防止指針を作成し各包括内での周知と研修を開催しました。

○令和3年度から市の委託事業としてGPS端末機を貸出し、新規利用者14名、継続利用者9名に貸し出し、累計67名が利用されました。

○認知症見守りシール事業では、今年度37名の方より申請があり、令和4年3月から累計で134名にシールを配布しました。未帰宅高齢者の発見時1名の方に活用されました。

○これまでイオンやみしまや、Aコープなどの商店47店舗に高齢者見守り協力を依頼し、令和5年度は九号線沿いの車販売店を中心に更に6店舗の高齢者の見守り協力依頼をしました。従業員の皆さんに認知症の理解や対応についての動画視聴やSOS見守りネットワーク協力者登録、高齢者見守り協力店スイングポップや包括周知チラシの配布をしました。

○中央郵便局のデジタルサイネージを活用し認知症見守りネットワークの周知を図りました。

○SOS見守りネットワークのメール受信登録者数が1,479名になり、昨年度より微増となりました。

○災害時に避難困難な高齢者の安全な避難が出来るように民生児童委員、ケアマネジャーとの話し合いや地域の各組織との情報交換会等を19件行いました。

オ) 地域ケア会議の開催

○松江市個別地域ケア会議を年12回開催し、計71事例を検討し、自立に向けた個人の状態の改善、重度化防止の対策について取り組みました。

○松江市個別地域ケア会議の評価会議を2回開催し、71事例を評価しました。

○助言を受けて利用者本人やケアマネに良い変化があった好事例5事例を松江市個別地域ケア会議事例集第3版に掲載し、社協ホームページ掲載しました。市内のケアマネジャー(事例提出者)と専門職能団体(助言者)にはメールで周知しました。

○ケアマネジャー向け研修と助言者向けの研修会開催を開催しました。

○地域ケア会マニュアル(包括職員向け)と、松江市個別地域ケア会議マニュアル(助言者・事例提出者向け)を改訂しました。助言者・事例提出者向けのマニュアルは社協ホームページに掲載し、専門職能団体、居宅介護支援事業所にメールで周知しました。

◆相談件数

区 分	相談件数		相談実利用者		介護予防ケアマネジメント及び 予防給付管理 プラン数(3月末)		ケアマネジャー 支援	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
中央地域包括	3,865	3,363	569	566	657	618	17	47
松北地域包括	3,250	3,369	513	508	515	476	36	25
松東地域包括	3,173	2,820	500	495	589	575	106	70
湖南地域包括	2,545	3,045	450	471	498	491	48	83
松南第1地域包括	3,323	3,301	632	567	589	577	46	62
松南第2地域包括	2,416	1,906	469	412	403	379	57	43
計	18,572	17,804	3,133	3,019	3,251	3,116	310	330

◆虐待困難事例検討会

事業名等	内 容
虐待困難事例検討会	<p>●日 時 随時開催</p> <p>内 容 包括での対応が困難な事例について、専門職からの助言をいただき、その後の支援に活かす。</p> <p>助言者 弁護士、臨床心理士、精神保健福祉士</p> <p>検討事例 4 事例</p>

◆公開講座

事業名等	内 容
公開講座 第1回	<p>「身寄りがない人の支援への支援研修会」</p> <p>●日 時 令和6年1月18日(木) 14:00~16:00</p> <p>内 容 【講演会】</p> <p>『身寄り』問題の解決に挑む</p> <p>～制度と互助のハイブリッドを目指して～</p> <p>講師 NPO法人「やどかりサポート鹿児島」 NPO法人「つながる鹿児島」 理事長 芝田 淳 氏</p> <p>【寸劇】</p> <p>「ひとり暮らしのつばきさん～終末期にそなえて～」</p>

◆ブロック連絡会

事業名等	内 容
ブロック連絡会 第1回	<p>●日 時 令和5年4月20日(木) 13:30～15:00</p> <p>会 場 Zoom 開催</p> <p>内 容 1.松江市からのお知らせ 2.助っ人弁護士制度について 3.地域包括支援センターからのお知らせ</p> <p>参加者 Zoom 視聴 197名</p>
第2回	<p>●日 時 令和5年10月26日(木) 13:30～15:00</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター大ホール</p> <p>内 容 「高齢者虐待防止の理解」 松江市社会福祉協議会 地域包括ケア推進課 係長 錦織 満</p> <p>「高齢者虐待について～経済的虐待の視点～」 法テラス島根法律事務所 弁護士 三村 明 氏</p> <p>「森永ヒ素ミルク事件と(公財)ひかり協会東中国ブロックの救済事業の概況など」 公益財団法人ひかり協会 東中国地区センター事務所 副センター長 齋木 悦子 氏 島根出張所職員 山延 和子 氏</p> <p>参加者 会場 98名</p>

◆松江市事例検討会

事業名等	内 容
松江市事例検討会 (勉強会)	<p>●日 時 令和5年5月18日(木) 13:30～15:45</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター 4階 教養室</p> <p>内 容 ・事例の書き方の説明 ・DVD 上映</p> <p>参加者 35名</p>
松江市事例検討会 第1回	<p>年間 参加者(ケアマネ) 延べ102名 検討事例 12事例</p> <p>●日 時 令和5年7月11日(火) 13:30～15:00</p> <p>参加者 19名 (松北エリア2事例)</p>
第2回	<p>●日 時 令和5年7月19日(水) 13:30～15:00</p> <p>参加者 19名 (松南第2エリア2事例)</p>
第3回	<p>●日 時 令和5年11月14日(火) 13:30～15:00</p>

事業名等	内 容
第 4 回	参加者 17 名 (中央エリア 2 事例) ●日 時 令和 5 年 11 月 21 日(火) 13:30~15:00
第 5 回	参加者 15 名 (松南第 1 エリア 2 事例) ●日 時 令和 6 年 1 月 16 日(火) 13:30~15:00
第 6 回	参加者 18 名 (松東エリア 2 事例) ●日 時 令和 6 年 1 月 23 日(火) 13:30~15:00
居宅支援事業所 管理者意見交会	年間 参加者 延べ 37 名 ●日 時 令和 5 年 12 月 13 日(水) 13:30~15:00
第 1 回	参加者 15 名 (橋北エリア)
第 2 回	●日 時 令和 5 年 12 月 20 日(水) 13:30~15:00 参加者 22 名 (橋南エリア)

◆地域ケア会議

事業名等	内 容
各包括での地域ケア 会議	困難事例等の対応検討や支援者の情報共有等、地域課題について地域の 関係者等と検討しました。 個別課題の検討 開催回数 77 回 参加者 延 473 名 地域課題の検討 開催回数 71 回 参加者 延 1,069 名
松江市個別地域ケア 会議	多職種が協働で個別ケースの支援内容を検討することで、高齢者 の課題解決や、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメント の実践力の向上を図りました。 会 場 松江市総合福祉センター 参加者 介護支援専門員(事例提出者) 助言者 薬剤師、訪問看護師、リハビリ専門職(理学療法士・作業 療法士・言語聴覚士のいずれか 1 名)、歯科衛生士、管理 栄養士、臨床心理士、主任ケアマネ、保健師、社会福祉 士、社協 CSW(兼務、生活支援コーディネーター) 検討事例 71 事例 評価事例 71 事例
第 1 回	●日 時 令和 5 年 5 月 25 日 (木) 13 : 30~16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 2 回	●日 時 令和 5 年 6 月 15 日 (木) 13 : 30~16 : 30 検討事例 5 事例 会場:福祉センター
第 3 回	●日 時 令和 5 年 6 月 22 日 (木) 13 : 30~16 : 30

事業名等	内 容
第4回	検討事例 6事例 会場:福祉センター ●日 時 令和5年7月13日(木) 13:30~16:30
第5回	検討事例 6事例 会場:福祉センター ●日 時 令和5年8月3日(木) 13:30~16:30
第6回	検討事例 6事例 会場:福祉センター ●日 時 令和5年8月24日(木) 13:30~16:30
第7回	検討事例 6事例 会場:福祉センター ●日 時 令和5年11月2日(木) 13:30~16:30
第8回	検討事例 6事例 会場:福祉センター ●日 時 令和5年11月16日(木) 13:30~16:30
第9回	検討事例 6事例 会場:福祉センター ●日 時 令和5年12月14日(木) 13:30~16:30
第10回	検討事例 6事例 会場:福祉センター ●日 時 令和5年12月21日(木) 13:30~16:30
第11回	検討事例 6事例 会場:福祉センター ●日 時 令和6年2月1日(木) 13:30~16:30
第12回	検討事例 6事例 会場:福祉センター ●日 時 令和6年2月15日(木) 13:30~16:30
評価会議 第1回	●日 時 令和5年10月19日(木) 13:30~16:30 会場:福祉センター 評価会議 36事例(令和4年11月~令和5年2月までの事例)
第2回	●日 時 令和6年3月14日(木) 13:30~16:30 会場:福祉センター 評価会議 35事例(令和5年5月~令和5年8月までの事例) 地域課題「低栄養、BMI 18.5以下」をテーマに、①早期発見のアセスメントの視点、②改善策・予防策、③今後の取り組みにつて、助言者(専門職)と包括が意見交換した。
研修会 第1回 (助言者研修)	●日 時 令和5年8月17日(木) 14:00~16:00 会場:福祉センター 内 容 【講義】「個別地域ケア会議の目的及び助言者の役割について」 講師 大田市立病院 作業療法士 小林 央 氏 【グループワーク】 「模擬地域ケア会議の事例を通して助言を考える」 参加者 助言者 29名、包括職員 28名、島根県地域包括ケア推進室室長 助言者内訳 主任ケアマネ 11名、薬剤師 8名、作業療法士 1名、

事業名等	内 容
第 2 回 (ケアマネ研修)	管理栄養士 1 名、訪問看護師 2 名、CSW 6 名 ●日 時 令和 5 年 12 月 19 日(火) 13:30～15:00 内 容 「豊かな人物像を描くアセスメントのコツ」 講師：島根臨床心理士研究所 臨床心理士・公認心理師 荒川ゆかり氏 参加者 受講申込者 82 名 (会場 30 名、Zoom 52 名) 内訳 ケアマネ 47 名、包括職員 35 名

②在宅医療・介護連携支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

在宅医療・介護連携支援センターは、医療・介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築に向けて設置されています。

令和 2 年度から質の高い在宅医療提供体制の構築を目指し、島根県の「医療連携コーディネーター設置事業」を松江市医師会から受託し、在宅医療・介護連携支援センターに医療連携コーディネーターを配置しました。医師会との連携が強化され、医師会の医療連携担当医師と相談しながら事業を進めました。

◆地域の医療・介護資源の把握

○市内のすべての施設 151 か所、訪問看護ステーション 38 か所、訪問リハビリテーション 13 か所等に対して、医療的ケア(インシュリン注射、喀痰吸引、経管栄養、在宅酸素療法、膀胱カテーテル等)や食事形態の対応状況、身寄りのない方の受け入れ状況等について調査を行いました。また、地域の医療・介護関係者のニーズに応じて、今年度より通所リハビリテーション 15 か所の調査も開始いたしました。把握した情報を一覧にし、社協ホームページに掲載しました。

◆医療・介護関係者の情報共有の支援

○松江市内すべての病院の地域連携担当者が集まる病病連携推進会議の開催や、病院の医師・看護師・在宅医・訪問看護師・介護支援専門員・薬剤師等の多職種に参加いただき、看取り(アドバンス・ケア・プランニング)についての事例検討会を医師会医師と共に主催することで多職種連携の支援を行いました。また各専門職の課題、取り組み状況等について、広報誌「RENKEI」を年 4 回発行し、お知らせしました。

○救急搬送時の課題に対応するため、市内の関係機関に松江市作成「救急医療情報」の更新の周知、松江市消防本部と連携し、松江市内の高齢者施設に対して「救急車利用チェックシート」の利用状況を調査し、「救急車を呼ぶ時の Q&A」「救急車利用チェックシート」の評価及び改訂を行いました。

○当センターホームページ内に「まつえの ACP」ページを立ち上げ、「まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発協議会」の取り組み状況や啓発動画を掲載し、活動報告を行うことで、アドバンス・ケア・プランニングの普及・啓発に取り組みました。

◆在宅医療・介護連携に関する相談支援

○医療・介護関係者等からの、在宅療養や資源、連携に関する相談を受け付け、医療介護関係者が必要な資源の周知、相談から医療介護に関する課題の把握を行いました。

◆相談内容

内容	在宅療養支援	医師との連携	介護との連携	病院の入退院支援	施設の入所支援	医療・介護資源	その他	合計
R5	9	8	6	4	0	9	19	55
R4	13	9	5	8	1	21	22	79
R3	21	11	3	13	2	37	60	147
R2	34	12	5	11	3	47	37	149

◆相談経路

相談者	ケアマネ	医師	病院	訪問看護	歯科	薬剤師	PT OT ST	サービス事業所	行政	市民	包括	その他	合計
R5	6	3	11	5	0	0	0	0	5	1	6	18	55
R4	9	3	20	5	0	2	0	4	2	3	17	14	79
R3	21	2	20	7	0	0	1	2	9	2	36	25	125
R2	28	4	20	2	0	1	0	5	12	5	30	21	128

◆医療・介護関係者の研修

○市内各団体が開催する研修について、ホームページ上に「研修カレンダー」を作成、月 2 回更新し、関係者に研修情報を提供しました。また、松江地域介護支援専門員協会等からの相談を受け、Zoom を活用した研修会の開催支援、Google フォームを利用した参加申し込み等の支援を行いました。松江市医師会主催の ACP の研修会について、研修会講師の紹介等の支援と医療・介護関係者に受講についての周知をしました。

○当センターが事務局を行っている「まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発協議会」主催の研修会を、国際医療福祉大学医学部脳神経内科 荻野美恵子医師を講師に迎え、多職種による協働意思決定に関する講演を開催しました。当日対面参加と後日 YouTube 視聴を含め 100 名が参加しました。

○松江地域介護支援専門員協会と共催で、「リハビリテーション研修会」と題し、地域のリハビリテーション専門職・地域包括支援センター・介護支援専門員が、介護保険のリハビリテーション事業の理解を深め、効果的なリハビリテーション介入につなげることを

目的に、研修を対面にて行い、34名が参加しました。

○終括支援ノートの活用や在宅医療・介護についての講座を松江市の地域で開催しました。

(18会場 参加者 272名)

③生活支援コーディネーター設置事業

【地域福祉課】

令和元年度より CSW（生活支援コーディネーター）を各包括支援センター（サテライトを除く）内に配置して、住民により身近な拠点で活動を行いました。

ア) 地域の生活課題の把握から新たな取組みの展開

「2 地域福祉及び連携調整の強化 2-(2)地域福祉の推進 ①コミュニティソーシャルワークの展開」の活動内容をご覧ください。

また地区社協事業を始め、なごやか寄り合いなどに出かけ、実態の把握に努めました。

イ) ネットワークづくり

地域の生活課題の検討や住民の主体的な取組みによる解決を図るため、平成 30 年度末に市内 29 地区を単位に「第 2 層協議体」を立ち上げました。地区地域福祉活動計画策定の会議を第 2 層協議体に充てている地区が多く、令和 5 年度は第 6 次地区地域福祉活動計画策定委員会等に参加しました。

ウ) 住民主体の生活支援サービスの開発

介護保険制度の総合事業に位置付けられる通所型サービス B(住民主体型)の立ち上げについて地区に働きかけをしました。また、これまで地域住民が主体となり実施されている各地の居場所づくり活動においても後方支援しました。

エ) サービスの担い手確保

10 月 6 日に令和 5 年度くらし安心サポートセミナーを実施し、3 名が受講され、地域の支え合い活動の担い手として登録されました。

訪問型サービス A（基準緩和型サービス）へ従事していただくことを目的に、第 1 回目（10 月 24 日・10 月 25 日・10 月 26 日）2 回目（3 月 11 日・3 月 12 日・3 月 13 日）に令和 5 年度松江市総合事業訪問型サービス従事者養成研修を開催しました。合計 8 名が受講をされ、内 7 名に対し松江市より修了証が授与されました。

◆生活支援コーディネーターの動き

活動の項目	件数
住民型サービスへの支援	56 件
協議体の立ち上げ・運営	303 件
人材育成	245 件
啓発	199 件

④認知症地域支援推進事業

【総務課】【地域福祉課】【地域包括ケア推進課】

ア) 支援者づくり・まちづくり

○徘徊 SOS 見守りネットワークの強化

市内の協力事業所や民生児童委員、地区社協関係者等に、高齢者の見守り協力の依頼をし、認知症の理解や対応について SOS 見守りネットワーク協力者登録チラシの配布をしました。

◆認知症見守りネットワーク

年度	登録者数(利用者)	登録者数(協力者)	協力事業所数	稼働回数
R5 年度	437 人	1,479 人	367 事業所	3 回
R4 年度	341 人	1,375 人	281 事業所	7 回
R3 年度	257 人	1,306 人	258 事業所	9 回 (1)

(1) は、内市外からの依頼協力

○男性介護者フリースペース

仕事と介護の両立や慣れない家事などで苦勞が多く、地域で孤立しがちな男性介護者の支援として、平成 21 年度から男性介護者の集いを開催しています。気軽に立ち寄り、日頃の悩みや介護について男性介護者同士で語り合える「フリースペース」の形式は維持しながら、男性介護者が参加しやすいよう毎月テーマを決めて開催しました。

- 日 時 毎月第 3 金曜日 10:00～12:00
- 会 場 松江市総合福祉センター3 階教室
- 協 力 傾聴ボランティア「傾聴の会 まつえ一期の会」
- 相談対応 地域包括支援センター、地域福祉係

開催月	テーマ (講師)	参加人数
4 月	茶話会	2
5 月	パステルアート	4
6 月	お薬出前講座 (松江市薬剤師会)	2
7 月	介護のお役立ち情報 (ウェルネス)	5
8 月	在宅介護の防災対策 (松江市防災危機管理課)	2
9 月	成年後見制度について (権利擁護推進センター)	3
10 月	コーヒー焙煎体験 (三上珈琲)	3
11 月	介護のお役立ち情報 (地域包括支援センター)	5
12 月	AI のある暮らし (地域福祉課)	3
1 月	オトコの料理教室 (島根県栄養士会)	6
2 月	オトコの家計管理術 (FP 協会島根支部)	3
3 月	茶話会～次年度に向けて意見交換～	5
計		43 人

○家族介護者交流会

在宅で介護をしている家族介護者が介護者相互の交流会や研修・講座への参加を通して、気分転換し元気回復を図ることを目的に、以下の内容で実施しました。

事業名等	内 容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年10月6日(金) 10:00～13:00 会 場 松江市総合福祉センター4階 大ホール、3階 教養室 参加者 28名 内 容 映画「オレンジ・ランプ」上映会 介護者交流会
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和6年3月7日(木) 10:00～12:00 会 場 松江市総合福祉センター4階 教養室 参加者 13名 内 容 講演「認知症の世界を知る～理解からはじまるケアの旅～」 (講師 松江市介護保険課 認知症地域支援推進員 大藤恵理氏) 介護者交流会

4-(2) 各種貸付相談

【生活支援課】

島根県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付制度の受付相談と、自主事業として低所得世帯に対し、緊急的に必要な資金を貸付する民生融金貸付事業を行いました。

新型コロナウイルス特例貸付制度フォローアップ支援として、生活状況確認のためアンケート調査の実施や、償還困難者支援（相談・償還免除・償還猶予申請・その他）を行いました。

◆相談件数

年度	相談件数
R5年度	637件
R4年度	1,024件
R3年度	1,549件

◆月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	40	39	64	41	47	54	62	56	76	53	48	57	637

※相談件数減少理由として、新型コロナウイルス特例貸付制度に関する相談が減少したためです。

※新型コロナウイルス特例貸付制度償還免除・償還猶予の相談は増加しています。

①生活福祉資金の貸付

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を中心に貸付及び援助指導を民生児童委員の協力を

得て行いました。また、母子福祉資金等、他制度との連携も図り適切な事業の実施に努めました。

- 生活福祉資金
- 教育支援資金
- 不動産担保型生活資金
- 総合支援資金

◆生活福祉資金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R5 年度	82 件	51,276,092 円
R4 年度	233 件	69,886,640 円
R3 年度	935 件	32,292,000 円

◆生活福祉資金 資金内訳 (82 件)

- 技能習得経費 (2 件) ■障がい者用自動車 (2 件) ■一時生活再建 (9 件)
- 緊急小口 (12 件) ■教育支援費 (23 件) ■就学支度費 (21 件)
- 総合支援資金 (13 件)

※例年より教育支援資金貸付相談が増加しました。

◆新型コロナウイルス特例貸付制度アンケート調査の実施

- ・ 目 的：新型コロナウイルス特例貸付制度を利用された人の現在の生活状況や悩み等を把握し、これからの生活で支援が必要な方へ必要な支援につなげることを目的にアンケート調査を実施しました。
- ・ 調査対象：新型コロナウイルス特例貸付制度を利用した人
- ・ アンケート配布数：2,789 人
- ・ 調査方法：郵送による返信もしくは web フォームによる回答
- ・ 調査機関：令和 5 年 9 月 21 日～令和 5 年 10 月 16 日〆切 (10 月 31 日まで受付)
- ・ 回収結果：有効回答数：754 人 (郵送 583、web 回答 171) うち松江市在住 716 人
有効回答率：27.1%
- ・ 支援対応：支援を希望する 164 人へ電話連絡

電話不通	34 件	引き続き連絡を行う	
電話対応	130 件	情報提供で終了	10 件
		状況確認で終了	74 件
		くらしで対応	23 件
		貸付で対応	12 件
		関係機関へつなぐ	11 件

◆新型コロナウイルス特例貸付制度償還免除・償還猶予申請の状況

緊急貸付		件数	金額
緊急小口	償還免除	178 件	28,006,570 円
	償還完了	94 件	16,070,000 円
総合・初回	償還免除	73 件	30,551,620 円
	償還完了	0 件	0 円
総合・延長	償還免除	97 件	41,169,000 円
	償還完了	0 件	0 円
総合・再貸付	償還免除	5 件	1,890,000 円
	償還完了	0 件	0 円

②民生融金の貸付

低所得世帯に対する緊急の生活資金として、民生児童委員の協力により 1 件 5 万円以内で貸付支援を行いました。

◆民生融金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R5 年度	35 件	725,000 円
R4 年度	21 件	384,000 円
R3 年度	14 件	158,000 円

4-(3) 福祉サービス

①福祉サービスの実施

【地域福祉課】

ア) 住民参加型在宅福祉サービス事業の推進（ゆうあいヘルプサービス）

高齢化の進行や社会の変化に伴い、多様化する福祉ニーズに対応するため、住民主体による住民同士の助け合いを基本とした住民参加型ヘルプサービスを展開することにより、在宅生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に事業を実施しました。

また、松江市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）における、住民主体サービスである訪問型サービス B も実施しました。

◆ゆうあいヘルプサービス事業の状況

年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度
利用会員	97 人	100 人	115 人
協力会員	44 人	47 人	40 人

◆ゆうあいヘルプサービス実績（1時間単位のサービス時間を設定）

項目	R5年度	R4年度	R3年度
利用回数（家事）	1,459回	1,436回	1,526回
利用時間（家事）	1,811.5時間	1,853時間	1,952時間
利用回数（介護）	716回	727回	673回
利用時間（介護）	1,182.5時間	1,256時間	1,126時間
利用回数（訪問B）	131回	245回	353回
利用時間（訪問B）	127.3時間	236時間	315時間
利用回数(計)	2,306回	2,408回	2,552回
利用時間(計)	3,121.3時間	3,345時間	3,429時間

◆研修会の開催

協力会員を対象に、訪問活動や日常生活に役立つ内容の研修を行い、合わせて会員同士の意見交換も行いました。

- 日 時 令和5年12月7日(木) 13:30～15:00
- 内 容 認知症の理解、成年後見制度などの支援について
 - ・意見交換会、非常食の試食
- 参加者 10名

◆機関紙の発行

協力会員に対して「ゆうあい通信」を発行しました。（令和5年9月）

5. 公的福祉サービス受託事業の推進

5-(1) なごやか寄り合い事業

【地域福祉課】

長年住み慣れた地域での生活を継続できることを目的とした「なごやか寄り合い事業」の立ち上げと円滑な継続運営に向けた取り組みに対して支援を行いました。

◆なごやか寄り合い事業実施状況

年度	実施会場数	実施回数	参加者延人数
R5年度	331カ所	2,523回	29,033人
R4年度	314カ所	2,034回	21,100人
R3年度	254カ所	1,734回	18,746人

◆公民館区ごとの実施状況

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
城西	8	22	古江	6	33
城東	4	23	生馬	10	39
城北	3	65	鹿島	10	112
白濁	9	51	法吉	12	64
雑賀	8	71	津田	10	62
朝日	9	52	竹矢	8	192
朝酌	6	14	大庭	15	92
持田	12	86	古志原	10	68
本庄	11	45	八雲	18	174
川津	15	135	乃木	16	156
美保関	17	162	忌部	14	47
八束	7	32	玉湯	16	78
島根	15	144	宍道	18	129
大野	8	42	東出雲	24	284
秋鹿	12	49	合計	331	2,523

ア) 継続支援、立ち上げ支援

前年度からの継続実施会場からの相談対応、新規会場の立ち上げ支援およびボランティア行事用保険手続き・物品支給の対応をしました。また、福祉推進員・民生児童委員・自治会等において、本事業に関する相談対応・情報提供を随時行いました。

◆継続支援、立ち上げ支援の状況

立ち上げ相談・説明会・支援	8 地区 (36 件)
立ち上げボランティア行事用保険	5 会場 23 件 (約 460 人分)
物品提供	5 会場 9 件
継続会場支援	28 地区 (162 件)

イ) 「なごやか寄り合い事業」ボランティアスタッフ研修会の開催

◆全体研修会の開催

なごやか寄り合いボランティア(世話人)の方を対象に、事業を実施する上での知識やヒントを得て今後役に立てていただくため「なごやか寄り合い事業世話人全体研修会(出前講座見本市)」を開催しました。趣味・特技を活かしたボランティアや企業、関係団体の出展を募り、なごやか寄り合いで実施可能な活動や講座のご紹介等、情報提供・デモンストレーションを実施しました。

○日 時 令和 5 年 12 月 22 日 (金) 13:30~15:50

- 場 所 松江市総合福祉センター 4階 大ホールほか
- 参加者 事前申込者数：103名、当日参加者数：76名（悪天候のため当日キャンセル多数）
- 内 容 8つの出展団体による出前講座の紹介やデモンストレーションを実施。

①14:00～②14:40～③15:20～の3回に分けて行った。

開催に合わせてまめなかポイント相談ブースや出展団体以外のパンフレットなどの資料コーナーを設置した。

出展団体（内容）と参加人数 (人)

団体名	内容	①	②	③
中屋ごんべえ	出雲弁落語	37	2	10
県障スポ協会	ボッチャ体験	6	6	2
NHK 松江放送局	回想法ライブラリ	12	18	6
ふじななんでもこいの会	特殊詐欺防止の寸劇	3	11	6
医介センター	ACP、終活ノート	1	4	6
県レクリエーション協会	身近にあるもので遊ぶ	8	15	23
しまねリハ職派遣事業	リハ職派遣事業紹介	1	13	10

◆ブロック研修会の開催

なごやか寄り合いボランティア（世話人）らが互いの経験や知識に加え、コロナ禍の開催において各地区で工夫した点などを共有し、なごやか寄り合いの充実を目指すことを目的に研修会を開催しました。研修会ではグループワークを通じてボランティア（世話人）同士が活発に意見交換を行いました

- 日 時 令和5年10月11日（水）13:30～15:30 ※橋北ブロック
令和5年10月12日（木）13:30～15:30 ※橋南ブロック
- 場 所 松江市総合福祉センター 4階 大ホール、4階 教養室
- 参加者 橋北ブロック：50名、橋南ブロック：68名
- 内 容 なごやか寄り合い情報交換会と題し、以下の構成でグループワークを実施
 - ・アイスブレイク：自己紹介（氏名となごやか会場名）、コロナ禍で工夫したことやなごやか寄り合いの自慢したいところなどを紹介
 - ・参加者一人ひとりが考える「理想のなごやか寄り合い」について付箋紙1枚に1項目ずつ意見を出し合っていたき、模造紙に貼っていく。

◆地域住民やボランティア（世話人）に向けた情報発信

松江市社協ホームページのなごやか寄り合い事業コーナーをリニューアルし、ボランティア（世話人）に向けたなごやか寄り合い運営に役立つ情報を掲載しました。また、広報誌「なごやか通信」を2回（9月・3月）発行し、健康づくりや事例紹介など事業に関するさまざまな情報を発信しました。

5-(2) 松江市くらし相談支援センターの運営

【生活支援課】

生活困窮者等の生活相談に応じ、必要な情報提供や相談支援を行うとともに、法テラスやハローワーク等の関係機関との連携を図りながら、自立相談支援業務を行いました。令和4年9月に新型コロナウイルス特例貸付制度の申請が終了したことに併せて、償還免除や償還猶予など返済に関する相談を通じて、自立に向けた支援を行いました。

また、複合的多問題を抱えた世帯への支援だけでなく、地域社会からの孤立・孤独化を防ぐために、地域へ向けて啓発活動を行い、社会全体で寄り添い続ける仕組みづくりにも取り組みました。

◆松江市くらし相談支援センター相談件数

年度	新規相談者実人数
R5年度	474人
R4年度	524人
R3年度	609人

◆月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	34	32	49	37	38	40	38	40	34	40	44	48

◆主な相談内容と支援内容（重複あり）

相談内容	人数（%）	年齢別	
		年齢	人数（%）
病気・健康	110人（9.6%）	10代	7人（1.5%）
住まい	157人（13.7%）	20代	45人（9.5%）
収入・生活費	277人（24.0%）	30代	50人（10.5%）
家賃やローン	104人（9.1%）	40代	65人（13.7%）
税金・公共料金支払	80人（7.0%）	50代	79人（16.7%）
債務	74人（6.4%）	60代	59人（12.4%）
仕事探し・就職	93人（8.1%）	70代	49人（10.3%）
仕事上の不安・トラブル	29人（2.5%）	80代以上	17人（3.6%）
地域との関係	11人（1.0%）	不明	103人（21.8%）
家族との関係	74人（6.4%）		
子育てのこと	13人（1.1%）	性別等	
介護のこと	18人（1.6%）	男性	253人（53.4%）
引きこもり・不登校	11人（1.0%）	女性	207人（43.6%）
DV・虐待	10人（0.9%）	夫婦	
食べるものがない	29人（2.5%）	法人等	14団体（3.0%）
その他	59人（5.1%）		

区分	支援内容	人数
制度利用	住宅確保給付金	24人
	一時生活支援事業（シェルター）	14人
	家計相談支援事業	19人
	就労準備支援事業	23人
	被保護者就労準備支援事業	20人
	入居債務保証（新規）	15人
	生活福祉資金	24人
	民生融金	35人
	社協独自のシェルター事業	6人
	フードバンク	306人
	就労自立促進事業	17人
自立相談就労支援	32人	
他機関への 引継ぎ ・ 同行	ハローワーク同行・連絡調整	260人
	法テラス	101人
	サポートステーション絆	50人
	地域包括支援センター	674人
	市関係機関	1,164人

①複合的な課題を抱えたケースに対する関係機関との連携強化

◆生困困窮者自立支援法第9条「支援会議」の開催

「支援会議」とは、生活困窮者の自立を図るために必要な情報の交換を行うとともに、生活困窮者が地域において日常生活および社会生活を営むのに必要な支援体制に関する検討を行うことを目的に開催する会議です。3件の事例について開催しました。

開催日	支援会議参加機関
6月12日	松江市（こども家庭支援課、健康推進課） 松江市社会福祉協議会（地域包括支援センター、くらし相談支援センター） 参加者 6名
11月16日	島根県立松江東高等学校 松江市障がい者基幹相談支援センター「絆」 松江市社会福祉協議会（くらし相談支援センター） 参加者 7名

開催日	支援会議参加機関
1月12日	島根県立心と体の相談センター 松江市社会福祉協議会 (地域福祉課、地域包括支援センター、くらし相談支援センター) 参加者 6名

②生活困窮者支援に対する理解促進

◆くらし相談支援センターの広報・啓発

- ・機関紙「ほっとスペース」を2回(春号・夏号)発行しました(179部配布)。
- ・くらし相談支援センターポスターをリニューアルし、関係機関・団体等へ啓示の依頼をしました。
- ・公式LINEの運用を開始し、登録者約100人へ毎月1回、生活に役立つ情報等を配信しました。

配信月	公式LINE配信内容
10月	教育支援資金
11月	クリスマス会、ひとり親フードドライブ
12月	パソコンルーム
1月	就労準備講座
2月	住居確保給付金
3月	社協Instagram

③就労に向けた支援の実施

◆就労準備講座及びプレ就労準備講座の実施

就労によって増収を図り、生活困窮状態を改善することを目指した支援を行っています。しかし長い就労ブランクがあったり、コミュニケーションに課題があったりするなど、すぐには一般的な就労に結びつかない相談者もおられます。このような相談者のために、「就労準備講座」と「プレ就労準備講座(Assist!!～みんなのフリースペース～)」を開催しました。

また、新たな取り組みとして、ひとり親世帯を中心に「親子の思い出作り」を目的として、地区の民生児童委員の協力により、12月2日に「みかん狩り体験」を行いました。親子4世帯16人の参加がありました。

【就労準備講座】(開催場所：松江市総合福祉センター)

開催日	内容	参加者数(生保受給者数)
5月29日	体操教室	参加者数2人(1人)
5月31日	パステルアート	参加者数3人(1人)
6月7日	コミュニケーション講座	参加者数3人(1人)
6月14日	ビジネスマナー①	参加者数2人(1人)

開催日	内容	参加者数(生保受給者数)
6月21日	ビジネスマナー②	参加者数3人(2人)
10月2日	体操教室	参加者数2人(0人)
10月4日	パステルアート	参加者数5人(2人)
10月11日	コミュニケーション講座	参加者数5人(2人)
10月18日	ビジネスマナー	参加者数6人(3人)
10月26日	料理教室	参加者数8人(4人)
2月5日	体操教室	参加者数3人(1人)
2月7日	パステルアート	参加者数5人(3人)
2月15日	コミュニケーション講座	参加者数7人(3人)
2月21日	ビジネスマナー	参加者数4人(1人)
2月28日	料理教室	参加者数4人(2人)

【プレ就労準備講座 (Assist!!～みんなのフリースペース～)】

(開催場所：松江市総合福祉センター)

開催日	内容	参加者数(生保受給者数)
4月13日	ボードゲーム	参加者数1人(1人)
5月11日	体操	参加者数2人(1人)
6月8日	マーブリング	参加者数2人(1人)
7月13日	マーブリング	参加者数0人(0人)
8月10日	eスポーツ	参加者数1人(1人)
9月14日	お団子作り	参加者数2人(1人)
10月11日	芋ほり	参加者数3人(1人)
10月12日	スイーツポテト作り	参加者数6人(5人)
11月9日	エコクラフト作り	参加者数5人(4人)
12月14日	デコレーションケーキ作り	参加者数5人(5人)
1月18日	書初め大会	参加者数0人(0人)
2月8日	チョコ作り 書初め	参加者数1人(1人)
3月14日	エコクラフト作り	参加者数2人(2人)

④フードバンク事業

【総務課・生活支援課】

くらし相談支援センターでの相談者をはじめ、社協貸付相談、地域包括支援センター、福祉事務所などからの相談に応じて、緊急的対応としてフードを提供しました。

◆提供者数

項目	実利用者	延べ利用者	1人あたり回数
R5年度	155人	306人	1.97回
R4年度	255人	340人	1.33回

◆ひとり一品運動

生活困窮者へのフード提供や生活困窮世帯、特にコロナ禍の影響を受けて収入が減少し、負担が増えた「ひとり親世帯」等を支援するために、「ひとり一品運動」を11月に実施しました。お米・缶詰・乾麺・インスタント食品、日用品等の寄贈を広く市民に呼びかけ、多く品物を寄贈いただきました。

○寄付件数

寄付者数（個人・団体）220件 数量 42,076点

◆ひとり親世帯等への食料・日用品の提供

ひとり一品運動で寄付をいただいた物品やコロナ禍における共同募金助成事業を利用し、「ひとり親世帯」を中心とした生活困窮世帯への支援を行いました。

開催日	提供世帯数	提供品	備考
6月18日	162世帯	食品(米、インスタント食品、お菓子等)日用品	
10月11日 ～18日	114世帯	食品(インスタント食品、レトルト食品、野菜)	期間中随時受け取り
12月10日	173世帯	食品(米、インスタント食品、レトルト食品、ふりかけ等)、日用品	
合計	449世帯		

⑤「助っ人弁護士制度」(法テラス島根との連携)

【生活支援課】

法テラス島根と連携して、法テラススタッフ弁護士による情報提供や法律相談を行い、司法と福祉の連携を図りました。

開催日：毎月第2・第4水曜日（午前）

◆助っ人弁護士制度の実績

年度	方法	件数
R5年度	面談での法律相談・情報提供	59件
R4年度	面談での法律相談・情報提供	47件
R3年度	面談での法律相談・情報提供	47件

5-(3) 高齢者あんしんサポート事業

【生活支援課】

身寄りのない高齢者を支援する「高齢者安心サポート事業」を実施しました（契約総件数 5 件）。

◆契約件数

年度	新規契約件数
R5 年度	0 件
R4 年度	2 件
R3 年度	0 件

◆相談ケースについて

相談件数	13 件
内契約に向け継続相談件数	1 件

◆契約締結審査会

新規契約件数 0 件のため未開催

5-(4) 松江市権利擁護推進センターの運営

【生活支援課】

松江市権利擁護推進センターは、成年後見制度が社会全体を支える仕組みとなるよう、市民、行政、関係機関と連携し、広報啓発業務、総合相談業務、利用促進業務、後見人等支援業務および地域連携ネットワークの構築等の各種業務を推進し取り組みを行いました。また、成年後見制度が『その人らしい生き方』を社会全体で支える身近な制度となるよう、広報啓発や人材育成を目的として、権利擁護サポーター養成講座や市民後見人等養成講座にも力を入れて取り組みました。

①相談受付業務

成年後見制度に関する相談だけでなく、日常生活自立支援事業など広く総合的に権利擁護に関する相談支援機関として、市民の皆様に寄り添った対応を行いました。また、関係機関との連携を図りながら、支援が必要な方に対して迅速に対応し、支援につなげました。

◆相談実績

年度	新規相談件数（実数）	相談支援回数（延数）
R5 年度	208 件	319 回
R4 年度	142 件	420 回
R3 年度	99 件	325 回

◆新規相談における対象者の分類（重複あり）

年度 \ 分類	認知症	知的障がい	精神障がい	身体障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	その他	不明	計
R5年度	76	32	24	8	2	2	24	44	212
R4年度	36	21	18	4	11	3	39	26	158
R3年度	38	12	20	8	2	0	26	2	108

◆主な相談内容（重複あり）一部抜粋

相談内容	件数	継続支援件数	延件数
成年後見制度の相談	101件	18件	142件
成年後見申立て支援	20件	9件	45件
日常生活自立支援事業	43件	1件	48件
財産管理	12件	4件	24件
金銭管理	12件	2件	16件
相続・遺言	8件	3件	16件
虐待・権利侵害	6件	0件	9件
財産・資産	4件	3件	8件
任意後見	5件	0件	5件
その他	15件	2件	19件

また、今年度は、地域への出張方式による「成年後見制度なんでも相談会」を実施しました。これは、地域の皆様に成年後見制度について気軽に相談いただくための新たな試みであり、本会地域福祉課（コミュニティソーシャルワーカー）および地域包括支援センターとの連携により実施することができました。

◆「成年後見制度なんでも相談会」の実績

開催日	会場	相談者数
10月17日	宍道ショッピングセンター・ベル	2人
12月7日	市営大庭アパート集会所	2人

②利用促進業務

成年後見制度を必要とするご本人の状況や課題に応じて、適切な後見人等を選任するための受任者調整を行いました。また、制度利用の促進に向けた担い手育成事業を実施しました。

ア) 受任者の調整

松江市権利擁護推進センターでは、本人がメリットを感じることができるよう、専門職（弁護士会・司法書士会・社会福祉士会、松江後見センター）で構成する「受任者調整会

議」によって、適切な受任者の調整を行いました。

◆受任者調整件数および受任者調整会議開催回数

年度	受任者調整件数	受任者調整会議
R5年度	38件	20回
R4年度	47件	22回
R3年度	27件	15回

◆受任者調整結果

年度	候補者 選出団体	弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	松江後見セン ター(個人)	松江後見セン ター(法人)	松江市社協 (法人後見)	松江市社協 (市民後見)	複数 保佐人 (※1)	計
R5年		9件	5件	6件	11件	1件	3件	3件	0件	38件
R4年		9件	4件	8件	13件	0件	11件	1件	1件	47件
R3年		6件	4件	1件	8件	0件	7件	1件	—	27件

(※1) 複数補佐人(弁護士会、松江市社協(法人後見))

イ) 担い手育成

成年後見制度の利用を必要とする方の増加に伴い、後見人等の不足が見込まれる状況があります。松江市権利擁護推進センターでは、ご本人に寄り添い、より身近なかたちで支援を行うことができる市民後見人をひとりでも多く輩出するべく、市民後見人等養成講座の運営に力を入れています。

◆令和5年度松江市市民後見人等養成講座【基礎編】 修了者 26人

開催日	時間	内容
【1日目】 8月26日(土)	9:30~15:00	「権利擁護支援とそれを実現するための制度・事業について学ぶ」
【2日目】 9月2日(土)	9:30~15:20	「権利擁護支援を必要とする人の特性と支援制度について学ぶ」
【3日目】 9月9日(土)	9:30~16:00	「いつまでも自分らしく安心して暮らすために役立つ知識について学ぶ」

◆令和5年度松江市市民後見人等養成講座【実務編】 修了者 23人

開催日	時間	内容
【1日目】 10月14日(土)	9:30~15:00	・松江市の権利擁護施策 ・日常生活自立支援事業の復習 ・成年後見制度の復習(任意後見契約概説を含む)

開催日	時 間	内 容
【2日目】 10月28日（土）	9:30~15:15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知っておきたい法律の基礎 ・ 成年後見制度の実務Ⅰ（申立手続き） ・ 成年後見の実務Ⅱ（財産目録の作成）
【3日目】 11月11日（土）	9:30~15:45	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見の実務Ⅲ（後見計画と収支予定表） ・ 成年後見の実務Ⅳ（財産管理と身上保護 等） ・ 成年後見の実務Ⅴ（報告書類の作成） ・ 成年後見の実務Ⅵ（後見等事務終了時の手続き 等） ・ 意思決定支援について ・ 当事者の声を聞く
【4日目】 11月18日（土）	9:30~12:15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民後見人とチームによる支援 ・ 市民後見人活動報告 等
【実習】 11月20日～ 12月15日	平日約3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活自立支援事業の支援同行

※レポート作成（A4用紙1枚程度）

テーマ①「体験実習レポート」 テーマ②「わたしが思い描く市民後見人像」

◆松江市市民後見人等養成事業の推移

市民後見人候補者バンク運営基準を満たした方にバンク登録の声かけをさせて頂き、今年度は新たに2人の方が登録されました。また、市民後見人候補者バンク登録者の中から家庭裁判所へ候補者を推薦した結果、新たに3人の方が市民後見人に選任されました。

なお、市民後見人のうち1人について被後見人の死亡により職務を終了したことから、令和5年度末時点において活動中の市民後見人は7人となりました。

③後見人等支援業務

(単位：人)

内 容 (累計)	R1	R2	R3	R4	R5
基礎講座修了者	134	155	181	202	228
実務講座修了者	61	65	77	82	105
生活支援員登録者	40	42	47	62	74
生活支援員活動者	23	25	30	39	30
法人後見支援員登録者	7	7	7	13	16
法人後見支援員活動者	5	5	5	12	15
市民後見人候補者バンク登録者数	11	12	15	19	21
市民後見人受任者数	1	3	5	5	7

後見人等からの相談に応じるとともに、必要に応じて本人に身近な親族、福祉・医療・地域等の関係者によるチーム作りを支援することにより、後見人等を孤立させない支援体制を整備しました。

◆後見人等への引継ぎ

受任者調整会議を経て後見人等が決定した後に、後見人等が本人や親族、支援関係者と顔合わせや貴重品等の引継ぎを行うための会を随時開催しました。後見人等が、本人支援のための既存のチームにスムーズに合流し、後見業務を円滑にスタートさせることができるようにするため、ご本人の想いや課題等を整理して後見人へ伝えるなどの初動支援を丁寧に行いました。

◆支援チーム会議

支援困難なケースやチームが未形成のケースについては、必要に応じて後見人等と本人、親族、支援関係者などを集めた支援チーム会議を開催し、本人支援のためのチーム作りとチームの自立を支援しました。

年度	後見人支援チーム会議	延べ参加人数
R5年度	51回	298名
R4年度	55回	340名
R3年度	18回	110名

◆親族後見人等意見交換会

事業名	内 容
第3回 親族後見人さんの つどい (親族後見人等意 見交換会)	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年12月15日(金) 10:00~11:30 会 場 松江市総合福祉センター 4階 教養室 参加者 6名 趣 旨 <ul style="list-style-type: none"> ・親族後見人が抱えている悩み・ニーズをキャッチする。 ・親族後見人が気軽に立ち寄ることができ、また親族後見人同士で情報交換を行える場をつくる。 ・親族後見人が孤立しないように支え、ご本人の権利擁護の視点にたった後見活動を一緒に考え推進していく。 内 容 自己紹介、弁護士からの講話、フリートーク (悩みの共有、制度や後見実務に関する質問など) アドバイザー 法テラス島根法律事務所 弁護士 三村 明 氏

◆権利擁護従事者意見交換会

事業名	内 容
第2回 権利擁護支援者交 流会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和6年2月29日(木) 10:00～11:30 会 場 松江市総合福祉センター 4階 教養室 参加者 17名 趣 旨 松江市内で地域の権利擁護支援活動に携わる市民後見人、日常生活自立支援事業の生活支援員、法人後見の支援員などの方々を対象として、日頃の活動に関する意見交換会や永年活動者への感謝状の贈呈式などを行うことで、今後の活動のための手がかりの発見やモチベーションの向上につなげる。

④広報・啓発業務

市民の皆様には松江市権利擁護推進センターの役割を知っていただくための広報活動を行いました。また、成年後見制度の理解と利用促進が図られるよう、市民の皆様を対象とする公開講座や地域に出向いての出前講座などを開催しました。専門職や関係機関に対しても、啓発および情報提供を行いました。

ア) 広報・啓発用ツールの作成

- ・社協だより（7月、9月、11月、1月号掲載）「成年後見制度講演会や市民後見人等養成講座の開催案内など」
- ・リーフレットの増刷（一部変更） 印刷部数：約500部
- ・機関紙「まもる」第4号および第5号の作成 印刷部数：各2,000部
- ・「まつえ権利擁護サポーター」養成講座配布用缶バッジ 作成個数：300個
- ・「まつえ権利擁護サポーター」制度告知用チラシ 印刷部数：1,500部

イ) 成年後見制度啓発ビデオの貸出及び上映

令和3年度に作成した成年後見制度啓発ビデオ「つばきさんの一生～つばきさんと成年後見制度～」は、今年度も地域の出前講座などで活用し、市民の皆様や関係機関等への貸し出しも行っています。また、前年度に引き続いて松江市立病院および松江赤十字病院においてもビデオを上映していただいております。ビデオで成年後見制度と当センターのことを知ったという市民の方からのご相談も増えてきています。

◆DVD 貸出先および用途

貸出先	用 途
三木市社会福祉協議会	成年後見制度の広報・啓発活動の参考にしたい。
苫小牧成年後見支援センター	成年後見制度の広報・啓発活動の参考にしたい。
松北地域包括支援センター（コミュニティソーシャルワーカー）	地域包括ケアシンポジウムにて活用するため。

ウ) 成年後見制度講演会・法と福祉のなんでも相談会の開催

成年後見制度の理解と周知を目的として、「ご存知ですか？成年後見制度～大切な人の生活と財産を守るための制度です～」をテーマに、成年後見制度の制度説明や具体的な活動内容等の講演会及び相談会を開催しました。

あわせて、島根県弁護士会・法テラス島根法律事務所・地域包括支援センター共催による、「法と福祉のなんでも相談会」を同日開催しました。

◆成年後見制度講演会等

事業名等	内 容
成年後見制度講演会 (法と福祉のなんでも 相談会)	<p>●日 時 令和 5 年 7 月 22 日 (土) 13:30～15:00</p> <p>会 場 島根県民会館 2階 多目的ホール</p> <p>参加者 講演会：100人、法と福祉のなんでも相談会：6人</p> <p>内 容 【成年後見制度講演会】 「ご存知ですか？成年後見制度 ～大切な人の生活と財産を守るための制度です～」 講師 法テラス島根法律事務所 弁護士 三村 明 氏 【なんでも相談会】 共催 島根県弁護士会、法テラス島根法律事務所、 地域包括支援センター</p>

エ) 出前講座・研修会講師

事業名等	内 容
松江市市民後見人等養成講座【基礎編】内で実施	<p>●日 時 令和 5 年 8 月 26 日 (土)</p> <p>会 場 市総合福祉センター 4階 教養室</p> <p>演 題 まつえ権利擁護サポーター養成講座</p> <p>参加者 34名</p>
男性介護者フリースペース	<p>●日 時 令和 5 年 9 月 15 日 (金)</p> <p>会 場 市総合福祉センター 3階 教養室</p> <p>演 題 まつえ権利擁護サポーター養成講座</p> <p>参加者 3名</p>
松江市民生児童委員協議会 連合会 第 8 ブロック研修会	<p>●日 時 令和 5 年 9 月 15 日 (金)</p> <p>会 場 八雲公民館</p> <p>演 題 まつえ権利擁護サポーター養成講座</p> <p>参加者 70名</p>

事業名等	内 容
松江市民生児童委員協議会 連合会 第10ブロック研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年9月27日(水) 会 場 ヨリアイーナ東出雲 演 題 まつえ権利擁護サポーター養成講座 参加者 50名
松江赤十字病院における勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年11月14日(火) 会 場 松江赤十字病院 演 題 高齢者あんしんサポート事業や権利擁護推進センターについての紹介 参加者 15名
南田町末広自治会研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年11月29日(水) 会 場 南田町公会堂 演 題 まつえ権利擁護サポーター養成講座 参加者 6名
ゆうあいヘルプ研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和5年12月7日(木) 会 場 市総合福祉センター 2階 身障者研修室 演 題 成年後見制度について 参加者 20名
美保関地区福祉推進員の研修会・交流会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和6年2月29日(木) 会 場 美保関公民館 大会議室 演 題 まつえ権利擁護サポーター養成講座 参加者 26名
美保関地区民生児童委員協議会地域福祉部研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和6年3月28日(木) 会 場 松江市役所美保関支所 2階会議室 演 題 事例で学ぶ成年後見制度 参加者 25名

⑤地域連携ネットワークの構築

ア) 権利擁護部会の開催

事業名等	内 容
松江市セーフティネット会議 権利擁護部会 (地域連携ネットワーク協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 5 年 12 月 18 日 (月) 14:00～15:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 出席者 20 名 内 容 【報 告】 <ul style="list-style-type: none"> ・松江市権利擁護推進センターの令和 4 年度の実績報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 相談受付業務 ② 利用促進業務 ③ 後見人等支援業務 ④ 広報・啓発業務 ・松江市権利擁護推進センターの令和 5 年度の事業計画及び進捗状況 <ol style="list-style-type: none"> ① 令和 5 年度事業計画 ② 令和 5 年度の取り組み状況 (4 月～10 月) ③ 令和 5 年度下半期に向けて ・課題提起「親族後見人とヒアリング調査結果に見る親族後見人の状況と課題」 【協 議】 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング調査結果をふまえたグループワーク テーマ:「家族は地域の最小単位親族後見人の孤立とその支援について策を語ろう! ～それぞれの立場でできそうなこと～」

6. 介護保険関係事業の推進

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で人としての尊厳を保って生活できるよう、またできる限り在宅において自分の力で生活できるよう自立を支援するため、本会で運営する 4 つの介護センターにおいて、利用者ニーズを反映できるサービスが提供できるよう基盤整備に努め、介護や予防援助を必要とする高齢者の在宅生活を支援しました。

6-(1) 松江社協介護センターの経営

【総務課：松北事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松江社協介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。

(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆松江社協居宅介護支援事業所職員体制

年度	職員数
R5年度	2名
R4年度	2名
R3年度	2名

◆松江社協介護支援事業ケアプラン作成数

年 度	作成 人数	総 合	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R5年度	719	30	62	131	231	146	71	23	25	0	7,249	1,048
R4年度	783	34	63	156	255	167	58	32	18	0	6,156	886
R3年度	816	0	84	109	240	204	57	49	73	0	7,768	1,235

②訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び総合事業事業者として松江社協介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)7名(嘱託3名、パート4名)体制により、身体上または精神上的の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松江社協訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R5年度	2名	1名	4名
R4年度	2名	1名	4名
R3年度	2名	2名	7名

◆松江社協訪問介護及び総合事業派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R5年度	78	42	133	120	61	48	23	0	505
R4年度	72	95	124	91	123	53	43	6	607
R3年度	32	114	133	110	153	41	21	6	610

6-(2) 美保関介護センターの経営

【総務課：松東事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として美保関介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆美保関居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R5年度	2名
R4年度	2名
R3年度	2名

◆美保関介護支援事業ケアプラン作成数

年 度	作成 人数	総 合	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R5年度	814	20	95	194	305	111	50	37	2	0	3,437	1,011
R4年度	826	22	78	179	245	179	95	23	5	0	3,291	1,127
R3年度	924	26	136	139	250	198	103	62	10	0	3,645	1,191

②訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び総合事業者として美保関介護センターにおいて、八束町、美保関町を対象に訪問介護員(ホームヘルパー)9名(嘱託3名、パート6名)体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆美保関訪問介護及び総合事業体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R5年度	2名	1名	6名
R4年度	2名	1名	6名
R3年度	2名	1名	6名

◆美保関訪問介護及び総合事業派遣実績

(人)

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
R5 年度	15	130	144	188	105	6	24	20	632
R4 年度	3	145	191	224	147	5	27	26	768
R3 年度	28	140	211	229	118	13	40	21	800

②通所介護事業及び総合事業

通所介護事業及び総合事業を「香梅の里」で実施しました。要介護又は要支援の状態の利用者に対し、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことのできるよう、必要な日常生活上の世話やレクリエーションをおこなうことにより、利用者の孤立感の解消及び心身の機能維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

◆美保関通所介護及び総合事業体制（兼務有）

年度	生活相談員	看護職員(機能訓練)	介護職員
R5 年度	2名	3名	7名
R4 年度	2名	3名	8名
R3 年度	3名	3名	9名

◆美保関通所介護事業

年度	年度末実 利用者数	稼働日数	年間延 利用者数	年間延入浴 利用者数	年間延食事 利用者数	一日平均 利用者数	3h～4h(人) 通所介護	4h～5h(人) 通所介護	5h～6h(人) 通所介護	6h～7h(人) 通所介護	7h～8h(人) 通所介護
R5 年度	25	256	2,821	2,707	2,821	11.0	2	2	3	258	2,556
R4 年度	21	250	2,582	2,481	2,582	10.3	7	5	7	360	2,203
R3 年度	29	304	4,086	3,930	4,086	14.4	29	3	148	460	3,446

◆美保関総合事業

年度	年度末実 利用者数	稼働日数	年間延 利用者数	年間延入浴 利用者数	年間延食事 利用者数	一日平均 利用者数	総合事業	通所介護 予防 ¹⁾	通所介護 予防 ²⁾
R5 年度	10	256	532	392	532	2.0	24	196	312
R4 年度	8	250	537	372	453	2.1	67	123	347
R3 年度	7	304	352	251	352	1.1	5	162	180

④美保関介護センター地域貢献事業なごやかで買い物ツアー

美保関・雲津地区で買い物に困っている住民に対し、令和元年10月より美保関介護センターの福祉車両を活用した商業施設への移送・買い物支援を実施しています。令和5年度は毎月第3金曜日に買い物ツアーを実施し、計12回の実施で延べ48人（実人数5人）の参加がありました。参加者からは「毎月1回の買い物ツアーを楽しみにしています」「是非、続けてほしい」などといった声をいただき、生活の質の向上や介護予防に対する一定の効果が得られました。

6-(3) 松南介護センターの経営

【総務課：松南事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松南介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆松南居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R5年度	2名
R4年度	2名
R3年度	2名

◆松南介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

年度	作成人数	総合事業	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R5年度	801	68	79	184	254	131	26	35	24	0	5,217	1,496
R4年度	760	37	53	163	256	143	37	55	16	1	4,876	1,390
R3年度	835	13	50	172	342	132	62	47	17	0	5,552	1,514

②訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び総合事業事業者として松南介護センターにおいて、訪問介護員（ホームヘルパー）7名（嘱託1名、パート6名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松南訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R5年度	1名	0名	6名
R4年度	1名	1名	6名
R3年度	1名	1名	6名

◆松南訪問介護及び総合事業派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R5年度	48	103	164	72	25	15	9	0	436
R4年度	54	74	186	65	36	0	12	1	428
R3年度	28	84	120	77	73	1	17	0	400

6-(4) 宍道介護センターの経営

【総務課：湖南事業所】

①居宅介護支援事業

宍道居宅介護支援事業者として主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆宍道居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R5年度	2名
R4年度	2名
R3年度	3名

◆宍道介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

年度	作成人数	総合事業	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R5年度	707	76	38	71	228	185	55	23	31	0	1,372	954
R4年度	803	80	57	62	253	225	49	54	23	0	1,351	1,091
R3年度	1,013	92	43	109	311	235	98	102	23	0	1,671	1,222

②訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として宍道介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)6名(嘱託1名、常勤1名、パート4名)体制により、身体上または精神上的障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・

洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆宍道訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R5年度	1名	1名	6名
R4年度	1名	1名	6名
R3年度	1名	1名	7名

◆宍道訪問介護及び総合事業派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R5年度	18	134	144	44	15	40	7	0	402
R4年度	0	142	171	52	60	12	32	0	469
R3年度	0	115	164	69	83	48	13	0	492

6-(5) 介護センターの研修等の推進

【総務課】

①介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)

介護支援専門員の資質の確保・向上を図るために、介護支援専門員証の更新制度（5年更新）が設けられており、松江市社協内の介護支援専門員資格者が下記の介護支援専門員研修に参加しました。

◆ケアマネ更新研修等参加状況

年度	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新	更新	計
R5年度	2	6	2	2	4	16
R4年度	5	4	2	5	4	20
R3年度	2	5	0	12	8	27

②訪問介護員内部研修

日頃研修機会の少ない訪問介護員の資質向上を図るため、以下の研修に参加しました。

事業名等	内容
訪問介護員研修	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和6年2月27日(火) 会 場 宍道健康センター 参加者 28名 内 容 松江南消防署 救急法・地震体験

③居宅介護支援専門員内部研修

社協内居宅介護支援事業所の情報共有及び資質向上を図るため事例検討会等計画しましたが新型コロナウイルス感染症予防のため中止としました。なお、Zoom 視聴を中心に松江市主催の適正な運営についての研修に参加しました。(各種公開講座等)

6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託

【総務課】

島根県より事務受託法人として指定を受け、介護保険法に基づく要介護認定のための新規・更新・変更申請者に対する訪問調査事業を松江市より受託し、介護支援専門員の資格を持つ職員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

前年度の新型コロナウイルス感染症に伴う更新申請分の延長措置希望が少なく調査希望が増加しています。

◆介護認定訪問調査事業体制

年度	正規	嘱託	パート
R5 年度	2 名	18 名	4 名
R4 年度	2 名	17 名	4 名
R3 年度	2 名	18 名	4 名

◆調査件数

(件)

年度	在宅	施設	合計
R5 年度	6,533	4,795	11,328
R4 年度	5,021	3,791	8,812
R3 年度	6,771	4,197	10,968

ア) 介護認定調査員の資質の向上

認定調査員調査内容の精度を上げるなど資質の向上を目的に、下記の研修を行いました。

◆調査員研修

事業名等	内 容
松江市認定調査員 現任研修 第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 5 年 11 月 29 日(水) 内 容 ・介護認定状況について 認定係 小川保健師 ・認知症高齢者と精神疾患について 講師 小松クリニック 小松 和久 氏 参加者 24 名
第 2 回	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 6 年 1 月 31 日(水) 内 容 ・松江市の認定状況について 認定係 細田係長 ・厚労省適正化事業 講師視聴

事業名等	内 容
第2回 (続き)	・事例検討(4-2ひどい物忘れを中心に) 参加者 24名
社協内部研修 認定調査員全体会	●日 時 令和5年4月24日(月) 内 容 ・個人情報保護について ・苦情・事故・ヒヤリハットの予防について ・認定係との項目目合わせ結果の報告 参加者 24名

イ) 他市町村からの介護認定訪問調査の受託

松江市に在住する被保険者で、保険者が松江市外の方について(住所地特例など)は市内居宅介護支援事業所が訪問調査業務を受けない現状があり、他市町村から調査を受託し、調査員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆他市町村から調査を受託件数

年度	件数
R5年度	20
R4年度	10
R3年度	6

7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の自己決定を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、本会で運営する4つの介護センターで居宅介護サービスを提供し、在宅生活での支援を行いました。

また、3つの介護センターにおいて視覚障がい者の外出援助として同行援護サービスを実施し1つの介護センターにおいてその他の障がいがある方の移動支援サービスを実施しました。

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

①松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松北事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービ ス提 供 時 間	平均利用時間
R5年度	649回	3人	6名	539時間30分	50分
R4年度	668回	4人	7名	540時間30分	50分
R3年度	741回	7人	7名	617時間30分	50分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービ ス提 供 時 間	平均利用時間
R5年度	10回	2人	6名	33時間30分	3時間21分
R4年度	23回	4人	7名	62時間	2時間40分
R3年度	28回	5人	7名	82時間	1時間00分

②美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松東事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービ ス提 供 時 間	平均利用時間
R5年度	734回	9人	8名	680時間00分	55分
R4年度	778回	12人	9名	829時間00分	1時間04分
R3年度	1,011回	12人	9名	828時間30分	49分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	ヘル パー 数 実 働	サービス提供 時間	平均利用時間
R5年度	35回	1人	8名	50時間00分	1時間25分
R4年度	34回	2人	6名	55時間30分	1時間40分
R3年度	28回	2人	7名	43時間00分	1時間30分

③松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

【総務課：松南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	ヘル パー 数 実 働	サービス提供 時間	平均利用時間
R5年度	77回	1人	7名	61時間15分	48分
R4年度	146回	1人	7名	94時間	40分
R3年度	74回	1人	6名	46分	35分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。またその他の障がい者の外出支援について松江市地域生活支援事業の事業所指定を受け移動支援事業を行いました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	ヘル パー 数 実 働	サービス提供 時間	平均利用時間
R5年度	31回	2人	7名	78時間30分	2時間31分
R4年度	8回	3人	3名	10時間30分	1時間20分
R3年度	8回	1人	2名	8時間10分	2時間30分

④ 宍道障がい者居宅介護事業

【総務課：湖南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆ 契約実績

年度	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
R5年度	489回	5人	6人	444時間45分	54分
R4年度	732回	10人	9人	888時間00分	1時間10分
R3年度	1,001回	9人	11人	1,108時間15分	1時間06分

8. 児童福祉サービスの推進

8-(1) 児童センター等の受託運営

【総務課：松南事業所】

① 八雲児童センター運営事業

0歳から18歳までの子どもとその家族がいつでも来館でき、自由に楽しむことができる施設として、児童センター「どんぐり館」の運営を、市からの指定管理者として行いました。

◆ 利用実績

(延べ人数)

年度	0～6歳	小学生	中高生	大人	合計
R5年度	1,166人	591人	9人	2,813人	4,579人
R4年度	1,153人	303人	6人	2,860人	4,322人
R3年度	984人	584人	3人	2,818人	4,389人

新型コロナウイルス感染症は、「5類感染症」に位置づけられたが、引き続き行事の見直しや縮小したものもあり、前年度同様利用者数は、ほぼ横ばい状況となりました。他の施設等との連携で年間をとおして多様な行事を行いました。

・ 行事内容

絵本とあそぼう会(年4回)、ファミリーサークル(年11回)、わいわいサロン(年6回)
 まあまるうむ(年6回)、布のおもちゃ作り(年12回)、表現ワークショップ(年1回)
 わらリズム(年2回)、親子お楽しみ会(年4回)、音楽コンサート(年3回)
 お月見会(年1回)、幼児救急法(年1回)

② 八雲児童・子育て事業

子育て中の親が抱える子育て不安を軽減するために、在宅の親とその子どもを対象に、地域での多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間作りを行うことを目的として、子育てサロン「星キラらぶ」を実施しました。

事業名等	内 容
子育てサロン 「星キラくらぶ」	●回数 26回 会場 八雲児童センター 参加者 279人（親子）

子育てサロンの活動を支える若いお母さんたちのグループ「星キラママ」は、就労される母親の増加や、幼稚園児の減少により参加者が減少していることもあり、地域の高齢者の方にも参加を呼びかけ実施しました。

事業名等	内 容
子育てサロン 「星キラママ」	●回数 13回 会場 八雲児童センター 参加者 168人（地域の高齢者の方々を含む） 型染め遊び、表現ワークショップ、コンサート等

8-(2) 子ども食堂の取り組み

【地域福祉課】

こどもや貧困世帯に限らず、誰もが「食」を通じて交流することができるこども食堂は地域の居場所として松江市でも広がっております。

松江市社協が把握するこども食堂は令和3年度末時点では4か所でしたが、令和4年度末時点で13か所まで増加、令和5年度末時点では19か所となりました。

各地区のCSWがこども食堂の立ち上げや運営支援を行うことと並行して、全市的なこども食堂の支援として企業等への働きかけにも力を入れて取り組みました。

企業等から寄贈いただいた食品や物品は、市内こども食堂代表者へメール配信を行うなど、間接的な運営支援も行っております。

また、松江市内のこども食堂運営者や立ち上げ希望者同士の横のつながりを作るべく、市内こども食堂関係者有志とともに令和3年度から毎年「松江市こども食堂交流会」を実施しております。

◆松江市こども食堂交流会

事業名等	内 容
令和5年度松江市こども食堂交流会	●日 時 令和5年8月2日（水）15:00～17:00 18:00～懇親会(ニューアーバンホテル) 参加者 16名 内 容 ・事例発表（2件） ・助成金の申請実保について ・意見交換を目的としたグループワーク ・市社協からの情報提供

9. 福祉施設等管理運営事業の受託

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業

【総務課】

市からの指定管理者として管理運営を行い、市民の福祉活動の拠点として利用がありました。
今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防の対策を講じながら、対応マニュアルに沿って貸館業務を行い安全な管理に努めました。

施設設備の老朽化により、本年度は空調設備更新工事、エレベーター改修工事の2つの大規模修繕が実施されました。工事期間中は、大ホール等一部の貸館の休止や開館時間の変更等が必要な期間もありましたが、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行され、行事等の自粛がなくなり、利用人員は前年度に比べ増加しました。

◆開館実績：令和5年度 355日 9:00～21:00（日曜 9:00～17:00、祝日 9:00～18:00）

年度	施設利用人員
R5年度	25,748人
R4年度	23,150人
R3年度	27,145人

9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業

【総務課:湖南事業所】

屋内ゲートボール場「すばやく宍道」は、地域の皆様の交流の場、生涯スポーツの拠点として、練習はもとより各種大会や体協支部の交流の場として市内外の方々の利用がありました。

老朽化が進み、令和5年度は男子トイレの改修工事と放送設備の購入を行いました。

◆利用実績

年度	利用件数	時間数	利用人員（延べ）
R5年度	137件	512時間	2,628人
R4年度	146件	518時間	2,609人
R3年度	148件	516時間	2,565人

9-(3) 美保関高齢者生活福祉センター(香梅の里)管理運営事業

【総務課：松東事業所】

市からの指定管理者として自主事業である介護センター事業を中心に施設の管理運営を行いました。

◆主な活動事業

事業名	年間回数	備考
美保関地区高齢者クラブ会議	5回	
地域ケア会議	4回	

10. 「地域共生社会の実現に向けた」の地域づくり推進

10-1) 重層的支援体制整備事業

【地域福祉課】

令和3年度から国の新たな事業として重層的支援体制整備事業が始まりました。

各包括エリアにおいて、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）と地域包括支援センター相談員がチームとしての連携を強化し、社協内各課の横断的な協働支援、さらに公民館、地区社協、社会福祉法人・企業・NPO法人等とともに、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に展開し、誰も取りこぼすことのないつながりのある包括的支援体制の構築に向け取り組みました。

①多機関協働事業

①-1 相談支援事業（相談の受けとめ）

ア) ふくしなんでも相談所の相談対応

市民の皆様の身近なご相談（悩みごと）をお受けし総合的にサポートするとともに、周知活動を行いました。

◆周知活動

○ふくしなんでも相談所ちらし：市内薬局、民協、地区社協、公民館他に配布

○ふくしなんでも相談所カード：市内小中学校、宍道高校、薬局に配布

◆相談件数

年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
相談件数	280件	291件	359件	288件

◆相談内容

内容	介護	家庭	体心	住まい	経済	孤立	子育て	就労	権利	近隣	地域	他	計
R5	80	27	52	29	33	29	9	17	5	19	16	82	398
%	20.1	6.8	13.0	7.3	8.3	7.3	2.2	4.3	1.3	4.8	4.0	20.6	100

イ) 福祉総合相談システム（相談管理システムゆめと）の活用 システムを導入し、受けた相談の一元管理を行いました。

ウ) ふくしなんでも相談所窓口の拡充

松江市社会福祉法人連絡会に参加している9つの社会福祉法人が各事業所に20か所の「ふくしなんでも相談窓口」を、市内の薬局13か所が「ふくしなんでも相談所連携薬局」を設置され、令和4年4月から設置しました。担当分野にとられない福祉の相談を受け付け、各専門機関やふくしなんでも相談所につながりました。

年度	R5年度
社会福祉法人受付件数	8件
連携薬局受付件数	9件

エ) 民間企業との連携

ふくしなんでも相談所の出張版として、イオンリテール株式会社との連携によりイオン松江ショッピングセンターを会場に「ふくしなんでも相談所 in イオン松江」を第3火曜日に9回開催し、7件の相談を受け付けました。

オ) 社協内相談機関連絡会議

毎月第4水曜日に事務局長、各課長、各係長が参加し、ふくしなんでも相談や、社協内の各相談機関での相談内容や支援状況を把握し、課題解決に向けた進捗管理を行いました。

カ) 対策会議の開催

社協としてケースにどう関わり、どう支援を組み立てていくのかを検討する対策会議を開催しました。例えば、複合的な課題を抱え、各課を超え検討が必要なケースや既存のサービスや制度では解決できないケースなどについて検討しました。

(開催回数 16回 検討ケース実数 15件のべ 25件)

キ) 困難事例検討会の開催

複雑・複合化した支援困難事例に対して、弁護士、医師等の外部の専門家の助言をいただきながら、課題解決に向けた支援策について検討しました。

(開催件数 1回 検討事例実数 1件 臨床心理士による助言)

ク) スキルアップ研修の開催

社協職員全員がふくしなんでも相談所の相談員として、総合相談機能の強化を図るため、社協職員として、総合相談に必要な知識を学び、スキルアップを図りました。またふくしなんでも相談所を実施する社会福祉法人の職員にも受講をしていただきました。

時期	受講者数	テーマ	講師
7月21日	71人	社協職員でアドバンス・ケア・プランニングを広めよう	松江市介護保険課 保健師 立原幸未 氏 松江市在宅医療・介護連携支援センター 脇田和子、錦織梨紗
10月20日	39人	子ども家庭センターと松江市家庭相談課の機能・役割について	松江市子ども家庭センター 保健専門官 富村佳子 氏 松江市家庭相談課 保健専門官 出川洋子 氏
11月17日	80人	実践の根拠としてのソーシャルワークアセスメント-具体の事例から考える-	NPO 法人 Social Change Agency 代表理事 横山北斗 氏
2月29日	52人	パーソナリティ障害の理解と対応	臨床心理士 荒川ゆかり 氏

ケ) 市民向け講演会の開催

地区社会福祉協議会関係者、民生児童委員、福祉推進員、孤立をなくす取り組みに関心を持つ人を対象に、講演会を開催しました。

・日 時 令和6年3月9日(土) 13時30分～15時30分

- ・会 場 島根県立美術館ホール
- ・演 題 あなたの「居場所」とともに歩む 孤独・孤立対策と地域のつながりづくり
- ・会 場 島根県立美術館ホール
- ・参加者 106名

①-2 重層的支援会議・支援会議の運営

ア) 重層的支援会議・支援会議の開催

学識経験者、弁護士、臨床心理士を助言者として、会議を開催しました。8050世帯の対応、ごみ屋敷問題、ひきこもりの参加支援へのつなぎなど継続事例の評価や支援の協議を行いました。支援会議を活用することで本人同意を得ることは難しい事例について検討することができました。

◆重層的支援会議等

開催日	重層的支援会議	支援会議
令和5年4月27日	0件	2件(評価)
令和5年6月29日	0件	1件
令和5年7月27日	1件	1件(評価)
令和5年9月28日	0件	2件(評価)
令和5年12月5日	1件(評価)	1件(評価)
令和6年2月22日	0件	2件(評価)

※支援会議とは：個人情報同意が得られないケースについて、社会福祉法106条6に基づき、会議構成員に守秘義務を設け、支援を検討する会議をいいます。

①-3 セーフティネット会議（各部会の活動）

地域共生社会の実現をめざして、高齢者だけでなく、障がいのある方や子どもなどへの支援や地域住民が抱える多様で複合的な課題にも対応する包括的な支援体制の構築が求められています。地域全ての市民が住み慣れた地域で安心して生活ができる社会の実現に向け、生活課題の解決に関係機関が連携し包括的に対応するため、部会を設置して開催しました。

事業名等	内容
セーフティネット 会議 生活困窮部 会 第1回	●日 時 令和5年8月7日(月) 内 容 委員の委嘱及び部会長の選出 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画 模擬ケース検討(グループワーク)
セーフティネット 会議 権利擁護部 会 第1回	●日 時 令和5年12月18日(月) 内 容 令和4年度実績報告及び令和5年度事業計画 地域で親族後見人を支えるためにできること(グループワーク)

事業名等	内容
セーフティネット 会議	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 6 年 3 月 22 日（金） 内容 ふくしなんでも相談所相談実績について 重層的支援会議整備事業について 権利擁護部会、生活困窮部会報告

②アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

長期にわたり、ひきこもりの状態にあるなど、複雑化・複合化した支援ニーズを抱きかかえながらも必要な支援が届いていない人や、支援につながることに拒否的な人の相談が入るよう、民生委員、地区社会福祉協議会、福祉推進員、居宅介護支援事業所等関係機関への事業周知を行いました。相談を受け付けた後は、本人と関わるためのきっかけや切り口の検討、本人に会う前の事前調整を行い、関係構築に向けた継続的な働きかけを行いました。

またひきこもりについて市民の理解と関心を得るために、講演会を開催しました。

- 日 時 令和 5 年 11 月 11 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分
- 会 場 松江市総合福祉センター大ホール
- 演 題 ひきこもりを理解する ～経験者として伝えたいこと～
- 会 場 松江市総合福祉センター大ホール
- 参加者 194 名

③参加支援事業

参加支援事業は既存の社会参加に向けた事業では対応できない狭間の個別ニーズに対応するため、本人のニーズ・希望と地域の資源との間の調整を行いながら支援しました。

ひきこもりの方や就労の意欲があってもうまくいかない方が社会に踏み出す一歩として、協力団体への要請、個々のニーズに合わせたプラン作成に取り組みました。重層的支援会議・支援会議に諮った支援プランは 1 件でしたが、CSW や担当職員が地域の社会資源等につなげるなどの支援を行いました。

④地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）

「2-(2)④地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）」をご覧ください。

11. 災害支援

11-(1) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

災害発生した際に、速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者本位の支援活動が行えるよう、運営スタッフのスキルや経験値の向上や、協力団体や地域との連携のため災害ボランティアセンターを理解していただくことを目的に県社協の協力のもと立ち上げ訓練を実施しました。

事業名等	内 容
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	<p>●日 時 令和 6 年 2 月 2 日（金）10:00～15:30</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール及び教養室</p> <p>参加者 ライオンズクラブ（協定先）、市内社会福祉法人、公民館職員、松江地方気象台、行政職員、県社協職員、松江市社協職員 松江市社協職員 53 名</p> <p>内 容 【講演・ワーク】 「災害ボランティアセンターにおける地域住民・他機関等との協働について」 講師 日野ボランティア・ネットワーク代表 山下 弘彦 氏</p> <p>【演習・まとめ】 「災害ボランティアセンター運営訓練（ロールプレイ）」 松江市南部（八雲町、玉湯町、宍道町）に大雨災害あったと想定し、参加者全員が、各班運営スタッフ、ボランティア、被災者等に分かれて役割を演じ運営訓練を行う。 終了後各役割別にふりかえりをし、山下氏に総評をいただいた。</p>

11-(2) 災害時における支援に関する協定先との情報交換会

令和 3 年度及び令和 4 年度に市内 7 ライオンズクラブと災害時における支援に関する協定の締結をしましたが、平常時の活動として情報交換を行い災害時の対応に備えました。

事業名等	内 容
情報交換会	<p>●日 時 令和 5 年 10 月 3 日（火）14:00～15:00</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター 1 階 会議室</p> <p>参加者 松江ライオンズクラブ、松江湖城ライオンズクラブ、松江葵ライオンズクラブ、松江市社協総務課</p> <p>内 容 ・マニュアルにより、災害ボランティアセンターの役割、災害時の流れ、各班の業務等の概要説明と併せて、今後の ICT 化、BCP 策定の義務化等の説明。 ・ライオンズクラブの役割、支援内容についてか意見交換。 ・旧町村地域のライオンズクラブとの緊急時連絡体制について、旧市部のライオンズクラブの連絡体制通して行うことを確認。</p>

11-(3) 災害ボランティアセンター運営等に関わる研修

事業名等	内 容
運営マネジメント 研修	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 5 年 9 月 29 日 (金) 10:00～15:30 (1 回目) 令和 5 年 11 月 27 日 (月) 10:00～15:30 (2 回目) 会 場 くにびきメッセ 小ホール 参加者 総務課長、総務課長補佐 内 容 【講義・演習】 (1 回目) <ul style="list-style-type: none"> ○災害 VC の初動、制度理解について ○コロナ禍以降の災害 VC 運営 (ICT の活用) について ○社協の事業継続計画 (BCP) について 講師 オフィス園崎代表 園崎 秀治 氏 【講義・演習・対談】 (2 回目) <ul style="list-style-type: none"> ○災害 VC の運営を支える もの・資金・広報活動 ○DWAT、支え合いセンター等福祉支援の現状を知る ○被災地経験のある社協職員からの話 講師・対談者 オフィス園崎代表 園崎 秀治 氏 対談者 出雲市社会福祉協議会事務局長 新宮 直行 氏 大田市社会福祉協議会地域福祉課長 吉田 真子 氏
クラウドサービス kintone 勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 令和 5 年 10 月 6 日 (金) ～毎週金曜日 11:30 より 30 分間 ※能登半島地震により当初 2 月末までの予定が 12 月で終了 参加者 Zoom による開催 総務課職員 4 名 内 容 災害 VC 運営の ICT 化を目的とした、クラウドサービス kintone の勉強会

11-(4) 能登半島地震災害ボランティアセンター支援派遣

①能登町災害ボランティアセンターへの職員派遣

- 派遣期間 令和 6 年 2 月 20 日 (火) ～令和 6 年 2 月 26 日 (月)
- 派遣人数 1 名
- 活動内容 災害ボランティアセンターの運営スタッフとして、ボランティアの受付や送り出し、資機材の整理や受渡しの業務に携わりました。

松江市社会福祉協議会 職員数

令和6年3月31日

所属		正規職員 専務含む	継続雇用 職員	嘱託 職員	臨時 職員	パート 職員	計
専務理事		1					1
常務理事 兼 事務局長		1					1
総務課	課長	1					1
	総務係	4		1		4	9
	経営企画係（松東事業所駐在含）	3	1	2	1		7
	松北事業所（松江社協介護センター）			5		4	9
	松東事業所（美保関介護センター）		2	7	6	6	21
	松南事業所（松南介護センター）			3		6	9
	湖南事業所（宍道介護センター）		1	4	1	4	10
	八雲児童センター			2		3	5
	介護認定調査	2	2	16		5	25
地域福祉課	課長	1					1
	地域福祉係	8		1			9
	ボランティアセンター	2		2			4
生活支援課	課長	1					1
	生活支援係	3		3			6
	くらし相談支援センター	3		6			9
	権利擁護推進センター	2	1	7			10
地域包括ケア推進課	課長	1					1
	地域包括ケア推進係	1	1	1			3
	地域包括支援センター	23	6	21			50
	在宅医療・介護連携支援センター	1			2		3
計		58	14	81	10	32	195